

Title	慶應義塾大学環境情報研究所1993年度年次報告書
Sub Title	Annual report 1993 Keio Institute of Environmental Information, Keio University
Author	慶應義塾大学環境情報研究所(Keio gijuku daigaku kankyo joho kenkyujo)
Publisher	湘南藤沢学会
Publication year	1994-06
Jtitle	慶應義塾大学環境情報研究所年次報告書 (Annual report, Keio Institute of Environmental Information, Keio University).
JaLC DOI	
Abstract	本書は、環境情報研究所の1993年度の年次報告書である。1993年度に行われた、研究所の活動記録や所員の研究業績を報告したもので、環境情報研究所における研究コンソーシアムの実情、共同研究員の受入状況、学会や地域社会への貢献の内容、研究環境整備の様子や研究所員個人ごとの研究業績等を知る為に有用な1冊である。
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=09195637-1993

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

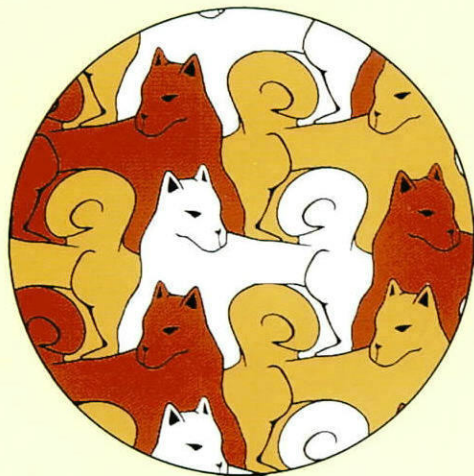
The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ISSN 0919-5637

慶應義塾大学環境情報研究所
1993年度 年次報告書

Annual Report 1993

Keio Institute of Environmental Information
Keio University



年次報告書の発行にあたって

1990年4月に湘南藤沢の地に開設された環境情報学部に、直属の形で正式に環境情報研究所が発足したのは1991年のことである。大学の使命として、研究の先端性を維持することは学部設立の理念の一つであり、新しい問題発見・解決型の教育にとっても不可欠なことである。環境情報研究所は最先端の研究を円滑に遂行し、一層の進展を図ると共に大学が担う社会的な責任の一端を果たすために設立されたものである。

環境情報研究所の具体的な役割は、(i) 研究コンソーシアム体制による先端研究開発の実施、(ii) 研究者の育成、(iii) 大学の教育・研究環境改善への寄与、(iv) 大学の活性化・近代化の支援、(v) 先端産業の育成、(vi) 地域社会への貢献、などである。この中でもっとも重要な役割は研究コンソーシアムの遂行である。

研究コンソーシアムは大学・企業・行政機構が協力し、単独では扱うことの難しい課題を共同研究することによって、優れた研究成果をあげようという試みであるが、大学の教育の質的改善にも大きな貢献をするものと期待されている。

研究コンソーシアムを含む研究所の活動はあくまでも大学主導型の健全なものであり、その成果は公開されるべきものである。そのための一環として、環境情報研究所は年次報告書の発行を決めたものである。本報告書は1993年度における研究所の活動ならびに研究所員の研究業績を報告したもので、環境情報研究所における研究コンソーシアムの実情、共同研究者の受け入れ状況、学会や地域社会への貢献の内容、研究環境整備の様子ならびに研究所員個人ごとの研究業績等を知ることが出来るはずである。本報告書は正に環境情報研究所と主として環境情報学部における研究者の実質的な研究活動の横顔を映したものだといえる。本書を通して、環境情報研究所の研究コンソーシアム活動に興味を持たれた方は、積極的に参加されることを期待している。また、将来の研究所のあり方について建設的なご指導、ご支援をお願いする次第である。

1994年6月

環境情報研究所
所長 相磯秀夫

慶應義塾大学 環境情報研究所 1993 年度 年次報告書
Annual Report 1993 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

目次

1. 1993 年度 環境情報研究所活動記録 1
2. 環境情報研究所所員 業績報告 13

1993 年度環境情報研究所活動記録

環境情報研究所

1 S F C 研究コンソーシアム

1. VOICE

参加所員 相磯秀夫,(総合政策・加藤寛),石井威望,(総合政策・井関利明),赤木昭夫,熊坂賢次,奥出直人

運営メンバー参加企業 インテルジャパン(株),日本電気(株),マイクロソフト(株),ロータス(株)

研究メンバー参加企業 (株)イトーキ,インテルジャパン(株),サンワサプライ(株),(株)電通総研,日本電気(株),日本電信電話(株),マイクロソフト(株),三菱電機(株),凸版印刷(株),(株)日本経済新聞社,ロータス(株)

発足日 1992年12月1日

契約金総額 7500万円

2. オープンメディア研究プロジェクト

運営メンバー参加企業 日本IBM(株),(株)リコー(中央研究所)

(a) オープン情報ベース

参加所員 斎藤信男,徳田英幸

研究メンバー参加企業 日本IBM(株),(株)日立製作所,(株)PFU,

発足日 1992年12月1日

(b) オープン分散サービス(受託研究からSFC研究コンソーシアムへ移行)

参加所員 萩野達也

研究メンバー参加企業 オムロン(株),(株)ビクターデータシステムズ,(株)リコー(先駆技術研究所)

発足日 1992年10月1日

(c) 人間情報環境 (サブテーマ「文字情報分析」)

参加所員 渡辺利夫

研究メンバー参加企業 アプティ(株)

発足日 1993年1月1日

(d) EENプロジェクト

参加所員 斎藤信男, 金子満

研究メンバー参加企業 (株)エムケイ,(株)メディアモラレス, 日本情報
通信コンサルティング(株), セントラルサービス(株),(株)SANYO

発足日 1993年4月1日

契約金総額 8650万円

3. ラストリゾート

参加所員 (総合政策・丸尾直美, 深谷昌弘, 池上直己), 熊坂賢次

研究メンバー参加企業 (株)ライフデザイン研究所

発足日 1992年10月1日

契約金総額 200万円

4. Color As A Concept

参加所員 (総合政策・井関利明), 藤幡正樹

研究メンバー参加企業 キヤノン販売(株)

発足日 1993年9月15日

契約金総額 6640万円

5. 高度情報インフラストラクチャの構築

参加所員 村井純

研究メンバー参加企業 NTTデータ通信(株)

発足日 1994年2月1日

契約金総額 400万円

2 受託研究

1. マルチメディア総合環境基盤ソフトウェアの研究開発プロジェクト (IPA)

受託所員名 斎藤信男, 徳田 英幸, 萩野達也

委託省庁名 通産省

共同研究者 (株)ソニー, オムロン(株), 日本アイ・ビー・エム(株), 横河電機(株), 富士通(株), (株)リコー, (株)日立製作所, 横河ヒューレットパッカード(株), (株)コア, 富士ゼロックス(株)

契約金額 12000 万円

契約日 1992,12,1

契約期間 1992,12,1～1996,3,31

2. 乗用車購入における消費者の欲求分析に関する調査

受託所員名 相磯秀夫, 渡辺利夫

委託企業名 (株)本田技術研究所

契約金額 300 万円

契約日 1993,12,1

契約期間 1992,10,1～1993,10,31

3. 臨場感通信会議におけるマン・マシン・インターフェースの研究

受託所員名 相磯秀夫, 安村通晃

委託企業名 (株)ATR 通信システム研究所

契約金額 130 万円

契約日 1992,9,1

契約期間 1993,9,1～1994,3,31

4. KLI による分散 AI

受託所員名 古川康一, 向井国昭, 萩野達也

委託企業名 (財)新世代コンピュータ技術開発機構

契約金額 300 万円

契約日 1993,7,1

契約期間 1993,7,1～1994,3,10

5. インタラクティブプロトタイプソフトの研究開発

受託所員名 相磯秀夫

委託企業名 (財)ハイビジョン普及支援センター

契約金額 4000 万円

契約日 1993,9,1

契約期間 1993,9,1～1994,3,31

6. 特許情報提供サービスの分析・評価

受託所員名 相磯秀夫, 苗村 憲司

委託企業名 NTT データ通信 (株)

契約金額 100 万円

契約日 1993,11,20～1995,3,10

契約期間 1993,11,20～1994,3,10

7. 機械学習による知識抽出の自動化

受託所員名 古川康一

委託企業名 (株)三菱総合研究所

契約金額 100 万円

契約日 1994,2,1

契約期間 1994,2,1～1995,9,31

3 湘南藤沢学会

環境情報研究所 1993 年度湘南藤沢学会発行
 年次報告書 RESEARCH MEMORANDUM RESEARCH MONOGRAPH

No	題名	編集者	発行日
ISSN 0919-5637	慶應義塾大学環境情報研究所 1992 年度 年次報告書 Annual Report 1992	武藤佳恭	1993,6

No	表題	編集者・著者
IEI-RM 93-001	ラビッドプロトタイピングによる手術シミュレーション Surgical Simulation using Rapid Prototyping	千代倉弘明
IEI-RM.93-002	3次元測定データからのなめらかな曲面の生成方法 A Method of Smooth Surface Genration from 3 Dimensional Measurement Date	千代倉弘明
IEI-RM 93-003	交差点における事故原因調査の事例研究	安村, 伊賀, 永井 日垣, 福井, 若林
IEI-RM 93-004	障害者向けコンピュータ・インターフェイスへの 序奏	アクセス研究 安村通晃(編)
IEI-RM 93-005	一般境界 Gregory パッチを用いた柔軟な曲面形状制御	千代倉弘明
IEI-RM 93-006	ヒューマンインターフェイスに関する諸問題	有澤, 安村
IEI-RM 93-007	The User Interface for Multilingual Input in a Windowing Environment Using Automaton	立木秀樹
IEI-RM 93-008	外科シミュレーションのための輪郭線からの ソリッドモデル自動形成	千代倉弘明
IEI-RM-009	音声対話システムの試作と評価	安村通晃
IEI-RM 93-010	Surface control using a NURBS boundary Georogy patch	千代倉弘明
IEI-RM 93-011	環境情報学って何だろう 1994	環境情報学ワークショップ
IEI-RM 94-001	分散マルチメディア統合環境プロジェクト ・海外視察/調査報告書	分散マルチメディア 統合環境プロジェクト編
IEI-RM 94-002	A Calculus of Parametric Generic Functions	立木秀樹
IEI-RM 94-003	マルチメディア言語環境の構築	安村通晃他
IEI-RM 94-004	アクセスシンポジウムの報告書	安村通晃
IEI-RM 94-005	Bee Fortran の設計と開発	安村通晃他

No	表題	編集者・著者
IEI-MONO 93-001	A Record Calculus with a Merge Operater	立木秀樹
IEI-MONO 93-002	ヒューマンインターフェイスの過去・現在・未来	安村通晃

4 研究員 (常勤)・訪問所員・研究員 (訪問)

氏名	プロジェクト名	資格	期間	担当
西尾信彦	IPA プロジェクト	研究員 (常勤嘱託)	93,4,1～96,3,31	斎藤

氏名	所属	資格	期間	担当
中川卓磨	富士通 (株) 情報推進本部	研究員 (訪問)	92.4.1～94.3.20	大岩
武智洋	横河電機 (株)	訪問所員	92.6.1～94.3.31	斎藤
岡部学	(株) 日立製作所本社情報管理部	研究員 (訪問)	93.4.1～94.3.31	安村
新海俊一	東京大学大学院工学研究科建築学専攻	研究員 (訪問)	93.4.1～94.3.31	伊藤
榊山寛	榊山寛事務所代表	訪問所員	93.7.12～94.3.31	奥出
持田茂人	オムロン (株) システム総合研究所	研究員 (訪問)	93.4.1～94.3.31	徳田
平林真実	(株) リコー	研究員 (訪問)	92.12.1～94.3.31	斎藤
小前晋	住友金属工業 (株)	訪問所員	91.10.1～95.3.31	安村
杉森英夫	住友金属工業 (株)	研究員 (訪問)	91.10.1～95.3.31	安村
大谷浩司	(株) アックス	訪問所員	92.4.1～95.3.31	安村
和田英彦	横河電機 (株)	訪問所員	92.6.1～95.3.31	斎藤
曾根順治	(株) 東芝	訪問所員	92.10.1～95.3.31	千代倉
多田征司	横河ビューレットパックカード (株)	研究員 (訪問)	92.12.1～95.3.31	斎藤
藤井敬三	(株) システムコア	研究員 (訪問)	92.12.1～95.3.31	斎藤
小野諭	日本電信電話 (株)	訪問所員	92.12.1～95.3.31	斎藤
緒方正暢	日本アイ・ピー・エム (株)	訪問所員	92.12.1～95.3.31	斎藤
佐伯巖	(株) リコー先駆技術研究所	訪問所員	93.5.1～95.3.31	萩野
河内谷清久仁	日本アイ・ピー・エム (株) 東京基礎研究所	訪問所員	93.5.1～95.3.31	斎藤
緒方泰彦	(株) エムケイ内 CGS 制作研究施設	研究員 (訪問)	93.6.1～95.3.31	斎藤
野村高明	(株) 日立製作所システム開発研究所	研究員 (訪問)	93.6.1～95.3.31	斎藤
吉山昭	東京都立大学理学部研究生	訪問所員	94.4.1～96.3.31	久保
尾上裕子	NTT 情報通信網研究所	訪問所員	93.4.1～95.3.31	斎藤
南部明	NTT 情報通信網研究所	訪問所員	93.6.1～95.3.31	徳田
斎藤尚則	(株) 富士通ソーシャルサイエンスラボ	研究員 (訪問)	93.6.1～95.3.31	斎藤
渡邊朗子		訪問所員	93.7.12～95.3.31	奥出
Shane Murnion	The Queen's University	訪問所員	93.10.1～94.9.30	久保
天明崇	日本アイ・ピー・エム (株) 東京基礎研究所	訪問所員	93.4.1～95.3.31	徳田
荒井浩	JR 東日本営業部企画課	訪問所員	93.10.1～94.9.30	有澤
吉倉満	新日本製鐵 (株) エレクトロニクス通信事業本部	研究員 (訪問)	93.10.1～95.3.31	古川
橋本千恵子	(株) 日立製作所ビジネスシステム開発センタ	研究員 (訪問)	93.10.1～95.3.31	大岩

5 環境情報研究所活動

1. 研究所会議

(a) 運営会議

第1回	1993,4,14	第7回	1993,11,24
第2回	1993,5,25	第8回	1993,12,22
第3回	1993,6,16	第9回	1994,1,19
第4回	1993,7,7	第10回	1994,2,9
第5回	1993,7,14	第11回	1994,3,4
第6回	1993,10,27		

(b) 所員会議

第1回	1993,4,21	第4回	1993,7,21
第2回	1993,5,26	第5回	1993,12,8
第3回	1993,6,23		

2. コンソーシアム

(a) 運営協議会

第1回	1993,4,20	第6回	1993,10,26
第2回	1993,5,21	第7回	1993,11,10
第3回	1993,7,2	第8回	1994,1,18
第4回	1993,7,21	第9回	1994,2,28
第5回	1993,9,28		

(b) 第3回 評価委員会

1993,11,4

(c) 第3回 外部説明会

1993,11,19

6 研究環境整備

1. 研究用機器整備

- ワークステーション NEWS 5000
- マッキントッシュ
- レーザープリンター 2台
- コピー機
- TV・VTR セット (2セット)

- 8mmVTR カメラ
 - 移動式 OHP(2 台)
 - 液晶プロジェクター
 - 各種ソフトウェア
2. 資料の公開
 3. 研究公募・各種シンポジウム等案内

7 研究集会・シンポジウム等 (於:SFC)

1. 1993 年 11 月 26 日
 障害者向けコンピュータアクセスシンポジウム
 参加者 約 30 名
 主催:アクセス研究会 (安村)
 共催:環境情報研究所
2. 1993 年 11 月 26 日
 電子情報通信学会 オフィス・システム研究会
 「慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける情報処理教育」
 専門委員長:大岩
3. 1993 年 12 月 18 日
 シンポジウム「景観を考える」
 参加者 110 名
 主催:環境情報研究所 (伊藤, 金安, 久保)
4. 1994 年 2 月 16 日～18 日
 "Twister Game on Network" project
 藤幡

8 招待講演 (於:SFC)

1. 1993 年 5 月 26 日
 椎名武雄氏 (日本アイ・ビー・エム会長)
 話題 「21 世紀に向けての世界の中の日本」
2. 1993 年 6 月 3 日
 Stephen Muggleton 氏 (オックスフォード大学)
 話題 「Inductive Logic Programming and its Application」
 招待者 古川・向井

3. 1993 年 7 月 2 日
ユルゲン・クラウス氏 (Ph.Jürgen Claus)(ケルンメディア・アート・アカデミー)
話題 メディア・アカデミー紹介、「Global Network for Solar Art 95」計画
招待者 坂根
4. 1993 年 7 月 12 日
Dr.Donald Schuele(Case Western Reserve University)
話題 「Microscopic nature of thermal expansion」
招待者 武藤
5. 1993 年 7 月 8 日
カールロフラー氏 (カーネギーメロン大学)
話題 「NetworkedVR,DistributedVR の現状」
招待者 藤幡
6. 1993 年 11 月 10 日
J.A.Robinson 氏
話題 「Thirty Years from Resolution Plinciple」
招待者 古川
7. 1993 年 11 月 10 日
Ivan Bratko 氏
話題 「Applications of Machine Learning: Towards Knowledge Synthesis」
招待者 古川
8. 1993 年 11 月 1 日
林紘一郎氏 (N T Tアメリカ社長)
話題 アメリカから見た情報通信
招待者 苗村

環境情報研究所所員
業績報告

- 氏名 (Name)
相磯 秀夫 (Hideo Aiso)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
環境情報学 (Introduction to Environmental Information), 研究開発 3(メディア)
(Research and Development on Media), 自律分散協調論 (Autonomous, Dis-
tributed and Cooperative System), マルチメディア文化論 (Multimedia Culture)
- 研究分野 (Research Areas)
計算機アーキテクチャ(Computer Architecture), 次世代コンピュータ (Next Gen-
eration Computers), 環境情報学 (Environmental Information Science)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
ノーベルコンピューティング (Research Project on Novel Computing)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
環境情報学部長 (Dean of the Faculty of Environmental Information), 大学院
政策メディア研究科委員長 (Chairperson of the Graduate School of Media and
Governance), 環境情報研究所長 (Director of the Keio Institute of Environmental
Information)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. Computing Environment for Higher Education in Non-Engineering Disci-
plines, 4th Annual Total Quality Symposium, July, 1993.
 2. 情報メディアと情報環境, 情報処理学会研究報告, 1993年10月.
 3. 科学技術と社会 - 自律・分散・協調 -, 情報都市シンポジウム, 1993年11月.
 4. 問題発見・解決型の教育, 文部省国際教育シンポジウム, 1994年1月.
 5. インテリジェントコンピュータの将来と発展, 未来技術予測シンポジウム,
1994年1月.
 6. グループウェア展望, グループウェア'94シンポジウム, 1994年2月.
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
日本の頭脳100人 - 先端科学をリードする研究者たち, 三田出版, 1993.12.

- 氏名 (Name)
赤木昭夫 (Akio Akagi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
近代科学, 現代科学, 現代技術, 生活情報論, 研究会 1,2
- 研究分野 (Research Areas)
科学史, 技術論, ソフトウェア企業の経営, マルティメディアネットワークの経営
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
二輪車の安全に関する研究に参加 (神奈川県警よりの委託研究)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
人事委員会, CDP 委員会, キャンパスウォッチャー委員会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
「ボーア・ハイゼンベルク・ファインマン - 彼らは何を見たか -」, 日本物理学会誌, 94年5月号
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
「情報環境のビッグバン」, 三田評論, 94年3月号

- 氏名 (Name)
有澤 誠 (Makoto Arisawa)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, モデルシミュレーション技法, 環境動態論, 交通運輸情報論 (JR 東日本寄付講座), 環境情報社会論 (電気通信普及財団寄付講座), 研究会.
- 研究分野 (Research Areas)
ソフトウェア工学, アルゴリズム論, マルティメディア情報処理
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. マルティメディアモデリング (MMM):慶應義塾学事振興基金
 2. 鉄道環境情報化:JR 東日本寄付講座
 3. インタフェイス評価 (YUK):横河電機共同研究 (有澤+安村+渡辺)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学教育委員会 (委員), 学部運営 (委員), 教育開発委員会 (委員長), 新カリキュラム実行委員会 (委員長) など
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本電子工業振興協会: 2001 年コンピュータシステム調査専門委員会 (委員), 日本経済新聞社: 新しい電子情報サービスに関する調査研究委員会 (委員長), 機械システム振興協会: マルティメディア互換システム分科会 (委員), マルティメディアソフト振興協会: マルティメディア白書 94 編集専門委員会 (委員), 電子情報通信学会: ソフトウェアサイエンス研究専門委員会 (委員), 山梨大学 (大学院工学研究科): 非常勤講師.
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
著書 (Books)
 1. 有澤誠監修: わかるコンピュータ用語辞典, 学研, 1993 年 4 月.
 2. 有澤誠, 渡辺利夫共著: 情報処理概論, オーム社, 1993 年 4 月.
 3. 有澤誠, 安村通晃ほか共著: コンピュータサイエンスをいかに学ぶか, bit 別冊, 共立出版, 1993 年 5 月.
 4. 有澤誠監修, 明田守正ほか SFC 学生 7 名共著: マルティメディア・ソフトの世界, ソフトバンク, 1993 年 7 月.
 5. クヌースほか共著, 有澤誠, 安村通晃, 萩野達也ほか共訳: コンピュータの数学, 共立出版, 1993 年 9 月.

6. 有澤誠著: ヒューマンインタフェイス, マグロウヒル, 1993年11月.
7. 有澤誠著: プログラミング思考法, 日科技連出版社, 1994年3月.
8. クヌース著, 有澤誠訳: 文芸的プログラミング, アスキー出版局, 1994年3月.
9. マルティメディア白書 1993, マルティメディアソフト振興協会, 1993年8月, (第5章 マルティメディアを取り巻く技術動向 担当編集専門委員).
10. 朝日用語事典 知恵蔵 1994年版, 朝日新聞社, 1993年11月, (コンピュータの項分担執筆).
11. 2001年コンピュータシステム技術に関する調査研究, 日本電子工業振興協会 93-計-12, 1993年3月, (1993年11月発行: ヒューマンインタフェイス担当 WG 主査).

論文 (Papers)

1. Arisawa, Hagino, Saito, Yasumura: Computer Literacy Education at Keio University SFC, Fourth Annual Total Quality Symposium, (Kansas City, July 1993).
 2. 有澤誠: リアルタイム制御の記述. 電気学会雑誌 113-8, 645-648(1993).
 3. 有澤誠, 川又浩一, 田所淳, 山川総司: マルティメディアソフトのプログラミング. 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会技術研究報告, 1993-07, 25-32, SS-93-17(1993).
 4. 有澤誠: プロトタイピングの可能性と限界, 文部省科学研究費重点領域 (1) ソフトウェアの要求分析に関するシンポジウム講演発表要旨集, 29-34(1993).
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 有澤誠: 2001年のヒューマンインタフェイス. 電子協マスコミ関係者勉強会, (経団連会館, 1993年4月2日).
 2. 薮田, 有澤, 加賀谷, 川島, 吉岡: ソフトウェア再利用と CASE, 第2回 CASE ジャパン'93 パネル C-2, リードエクジビションジャパン (1993年7月15日).
 3. 石井, 梶原, 小倉, 有澤, 藤幡, 多賀: パネル討論 情報発信のための地域ウェア, 情報都市シンポジウム, 岐阜県 (1993年11月15日).
 4. 杉浦章介, 有澤誠: コンピュータは今, ラジオ短波三色旗の時間 (1994年1月7日, 14日).
 - 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 連載 情報社会のパズル思考, 日本経済新聞夕刊科学面 (1993年4月-1994年3月: 全48回).

2. 連載 C 言語のゲームパズルプログラミング, 月刊情報処理試験 (1993 年 6 月号- 1994 年 4 月号:全 10 回).
 3. 21 世紀のコンピュータを探る 海外研究機関を訪ねて, JUST MOAI No.51, pp.28-33, 1993 年 9 月号.
 4. ゲームのアルゴリズム概説, Computer Today No.57, pp.6-8, 1993 年 9 月号.
 5. エレガントな解をもとむ (箱詰めパズル), 数学セミナー, 出題 1993 年 8 月号, 解答同 11 月号.
 6. 文字コードのある生活, ワープロ・パソコン最新漢字辞典序文, 4pp., 小学館, 1994 年 3 月.
 7. 国際情報オリンピックの問題を検討する, 数学セミナー, 1995 年 4 月号, pp.62-64.
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
義塾賞 コンピュータアルゴリズムの研究, 1993 年 11 月 17 日.

- 氏名 (Name)
石井威望 (Takemochi Ishii)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
大学院政策・メディア研究科 (講義):メディア環境基盤論,(プロジェクト科目):マルチメディア・アンビエンス, 環境情報学部:システム論
- 研究分野 (Research Areas)
システム工学, 医用工学, 生産管理, メカトロニクス, 新交通システム, 産業立地, マルチメディア
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
東京都顧問, 東京都清掃審議会会長, 郵政省郵政審議会会長, 通商産業省産業構造審議会, 産業技術審議会各委員, 株式会社三菱総合研究所理事, 新日本製鉄株式会社顧問, 株式会社原子力安全システム研究所顧問, 東京電力株式会社顧問
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『石井威望のフラクタル発想のすすめ』, 1994年3月, 中経出版
 2. 『21世紀日本の選択』(共著),1994年3月, ダイヤモンド社
 3. 『さんすい 地球規模で考えるエネルギー問題』(対談形式)
1994年3月, 電気事業連合会発行, 中央公論事業出版
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
IEEE Virtual Reality Annual International Symposium 1993年9月
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
第8回電気通信普及財団賞 (テレコムシステム技術賞), 電気通信普及財団 1993年5月

- 氏名 (Name)
石崎 俊 (Shun Ishizaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia・b, パターン情報論, 自然言語論 II, 人工知能 (理工学部兼任教授)
- 研究分野 (Research Areas)
自然言語処理, 音声情報処理, パターン認識, 人工知能, 認知科学, 機械学習
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 文部省重点領域研究:対話文理解のための解析手法と認知意味論的モデルの研究
 2. 文部省一般研究B:発見, 創造過程のモデル化に関する研究
 3. 学事振興資金:音声情報と自然言語の統合に関する研究
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
Civil Service Orientation Program 委員, 学事振興資金第1委員会委員, メディアネット評議会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本認知科学会 編集委員会委員長・常任運営委員, 言語処理学会 評議員・編集委員, (財)国際情報化協力センター「情報技術国際標準化推進委員会」委員長, (財)国際情報化協力センター「プロジェクト技術協力調査委員会」委員長, 日本電子工業振興協会自然言語処理専門委員会委員, 人工知能学会 担当編集委員, 機械翻訳国際会議 (MT SUMMIT) プログラム委員, 計算言語学国際会議 (COLING) 組織委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 1993年10月, Multimedia Information Processing and its Standard, Keynote-speech, The 7th Asian Forum for Standardization of Information Technology
 2. 1994年1月, 対話文理解のための解析手法と認知意味論モデルの研究, 文部省科研費重点領域成果報告書
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 1993年12月, 対話文理解のための解析手法と認知意味論モデルの研究, 文部省科研費重点領域研究会
 2. 1994年3月, 柔軟な意味解析のための概念空間の定量化, 情報処理学会自然言語処理研究会94巻28号

3. 1994年3月, 日常言語における意味の生成, 情報処理学会自然言語処理研究会94巻28号

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1993年5月, 情報処理の文系と理系, bit 第25巻5号 (共立出版)

- 氏名 (Name)
伊藤滋 (Shigeru Itoh)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
プロジェクト, 研究開発 2(環境)
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本都市計画学会会長, 地理情報システム学会会長
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 【講演】伊藤滋,21 世紀に向かう東京の課題, 新しい都市生活の構造を求めて, 大都市生活構造研究会,1993
 2. 【講演】伊藤滋, 都市景観の創造, シンポジウム「景観を考える-景観ダイナミクスの提唱-」,1993

- 氏名 (Name)
今井 むつみ (Mutsumi Imai)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia 自習
- 研究分野 (Research Areas)
認知科学 特に言語獲得, 認知発達, 言語心理学, アナロジーと類推の研究を重点領域とする
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 論理による発見, 創造過程のモデル化に関する研究 (科研 古川, 石崎, 向井との共同研究)
 2. 対話文理解のための解析手法と認知意味論的モデルの研究 (科研 石崎, 田中との共同研究)
 3. Underlying conceptual systems in the count/mass distinction (with Edward Wisniewski at Northwestern University)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Imai, M. (1994). Evolution of young children's theories of word meanings: The role of shape similarity in early acquisition. Ph.D. dissertation submitted to Northwestern University
 2. Imai, M. & Gentner, D. (1994). Linguistic reactivity vs. universal ontology: Cross-linguistic studies of the object/substance distinction. Chicago Linguistic Society, 29.
 3. Imai, M., Gentner, D. & Uchida, N. (1994). Children's theories of word meanings: The role of shape similarity in early acquisition. Cognitive Development, 9.
 4. 今井 むつみ (1993), 外国語学習者の語彙学習における問題点—言葉の意味表象の見地から—, 教育心理学研究, 41
 5. 石崎俊, 田中茂範, 今井むつみ (1994), 柔軟な意味解析のための概念空間の定量化, 自然言語処理, 100-3
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. Imai, M. & Gentner, D. (1993, April). Early word learning: Taxonomic or shape bias? Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development.

2. Imai, M. & Gentner, D. (1993, April). Learning object names and substance names: Language-based or ontology based? Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development.
 3. 内田伸子, 今井むつみ (1993,10月), 語意獲得に制約を与えるカテゴリーバイアスの検討, 日本教育心理学会
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
American Psychology Association Dissertation Research Award.

- 氏名 (Name)

岩竹 徹 (Tohru Iwatake)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)

コンピュータ・ミュージック, 音像環境論, 情報処理 IIM, メディア空間論, 研究会 I・II,(大学院政策・メディア研究科 プロジェクト科目) マルチメディア・アンビニエンス

- 研究分野 (Research Areas)

作曲, コンピュータ・ミュージック, 音空間デザイン,

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)

作品

1. Beating Piece(コンピュータ音楽), 1993年2月11日, 銀座十字屋ホール
2. Breath(コンピュータ音楽), 1993年6月5日, スtockホルム EMS(スウェーデン)

イベント

1. 島原ファンタジア, 1993年12月24日, 長崎島原城 長崎県, 長崎民放連 (コンピュータ音楽+レーザー) 朝日新聞, 毎日新聞 etc. 主催, 長崎民放4局テレビ放映 (2時間特別番組)

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. コンピュータミュージック, 1994年4月, オーム社

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 作曲活動と瞑想, 1993年11月27日, 人体学会大会, 東京医科大学
2. コンピュータ音楽の可能性, 1993年3月23日, 日本音響学会, 千葉工業大学

- 氏名 (Name)
江藤淳 (Jun Eto)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
創作過程論 (On Literary Creation), 表現伝達論 (On Literaty Communication)
- 研究分野 (Research Areas)
比較文学・比較文化 (Comparative Literature and Cultrure)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
文字メディアとレトリック (Rhetoric and literary Media)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
福沢基金委員 (Member,Fukuzawa Fund)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本芸術院会員 (Member,Japan Arts Academy), 日本文芸家協会理事長 (President,Japan Writers'Association), 日本比較文学会理事 (Director, Japan Comparative Literature Association), 国立劇場評議員 (Member, Board of Trustees of National Theatre), 国語審議会委員 (Member, Education Minister's Advisory Council on National Language)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『漱石とその時代』 第三部 (新潮社 1993)
 2. 『閉ざされた言語空間 — 占領軍の検閲と戦後日本』 (文春文庫 1994)
 3. 『漱石とその時代』 第四部 『新潮』 1993 年 12 月号以降連載中
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
NHK 放送文化賞受賞 (1994 年 3 月 22 日)

- 氏名 (Name)
追川修一 (Shuichi Oikawa)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
オペレーティングシステム, 並列/分散処理, マルチメディアシステム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activitiy)
開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業プロジェクト
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 追川 修一, 徳田 英幸: 並列オブジェクト指向システムのためのマルチパラダイムスケジューリングポリシーのサポート, 日本ソフトウェア科学会オブジェクト指向コンピューティングワークショップ, 1993.
 2. 追川 修一, 徳田 英幸: メタレベルサーバによるマイクロカーネルの再構成, 情報処理学会第5回コンピュータシステムシンポジウム, 1993.
 3. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. User-Level Real-Time Threads: An Approach towards High Performance Multimedia Threads. Fourth International Workshop on Network and Operating System Support for Digital Audio and Video, Lancaster, 1993.
 4. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. User-Level Real-Time Threads. 11th IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software, Seattle, 1994.
 5. 斎藤, 徳田, 萩野, 追川, 天明, 緒方, 大町, 和田, 堀切, 平林, 多田, 藤井, 矢崎, 薄, 田中, 人見, 小野, 南部: マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価, 信学技報, CPSY92-76, pp. 17-24, 1993.
 6. 緒方, 人見, 和田, 追川, 徳田: Real-Time Mach 3.0 の評価と改良, 信学技報, CPSY92-82, pp. 61-68, 1993.
 7. 緒方, 和田, 追川, 西尾, 徳田: Real-Time Mach 3.0 のマルチメディア処理に関する性能評価, 情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会報告, No. 61-10, pp. 67-74, 1993.
 8. 西尾, 追川, 緒方, 尾上, 河内谷, 塩野崎, 南部, 持田, 和田, 徳田: マイクロカーネルによる連続メディア処理の基盤技術, 情報処理学会第5回コンピュータシステムシンポジウム, 1993.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
ソフトウェア科学会高橋奨励賞

- 氏名 (Name)
大岩 元 (Hajime Ohiwa)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Is (講義), 情報処理 IIE (データ構造), 情報分類検索論, 学習環境論
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータ教育 (Education on the Computer), 要求工学 (Requirement Engineering)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
教材・教授法開発委員, Civil Service Orientation Program 委員, 図書委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会「短期高等教育における情報処理教育」調査研究委員会 (文部省依託) 代表, 情報処理学会論文誌編集委員 (応用グループ主査), 計測自動制御学会: ヒューマン・インターフェース部会運営委員 (論文誌編集担当), NTT 電気通信技術委員会 ソフトウェア部会 専門委員
- 著書・論文等 (list of Full Length Refereed Papers)
 1. 「協調作業支援機能を持ったカード操作ツール K J エディタの評価実験」, 人工知能学会誌, 第 8 巻, 第 5 号, 1993 年 9 月
- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)
 1. KJ-Editor: A Collaboration Environment for Brain Storming and Consensus Forming, HCI International '93, Orlando, Florida, August, 1993.
 2. Preliminary experiment with a distributed and networking card-handling tool named KJ-Editor, HCI International '93, Orlando, Florida, August, 1993.
- 解説・評論等 (Survey Papers and Ctiques)
 1. 「日本のソフトウェア」, 学術新報, 第 164 巻, 1993 年 8 月

- 氏名 (Name)
岡田隆彦 (Takahiko Okada)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
表現伝達論, 現代芸術, 記号・修辞論, 環境芸術論
- 研究分野 (Research Areas)
近代・現代美術, 近代・現代文学
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
「三田評論」編集委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
東京国立現代美術館作品選考委員, 東京都美術館作品選考委員, セゾン現代美術館理事
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
『芸術の生活化』(小沢書店)

- 氏名 (Name)
奥出直人 (Naohito Okude)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
比較文化, 比較メディア, 情報社会, 生活史・誌
- 研究分野 (Research Areas)
メディア環境, アメリカ研究, 文化史
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 将来型アプリケーションソフトウェア技術の今後の展望についての調査研究
 2. VOICE プロジェクト
 3. 新映像産業プロジェクト
 4. 環境シミュレーションラボ研究会
 5. 電力中央研究所「有識者会議」第四研究グループ
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
メディアセンター AV 委員会
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
世界都市産業会議 (名古屋), 配達総合情報システムに関する研究 (郵政省), マルチメディア企画委員会 (通産省), マルチメディア支援センター検討委員会 (通産省), 情報新世界会議生活社会特別委員会 (社会経済生産性本部), モデル電子図書館プロジェクト推進委員会 (情報処理振興事業協会)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 未来のオフィス像 (93/3) 「日経エレクトロニクス」
 2. マルチメディア空間創造の産学協同研究を推進 (93/3) 「戦略コンピュータ」
 3. 楽しく生産性の高い情報空間を自らで創り出すプロセスを学ぶこと (93/4) 「ファミリーマネージメント」
 4. コレクションとコネクション思考 (93/4) 「平成義塾」
 5. コミュニケーション・アーキテクチャーとしてのハイパーテキスト (93/4) 「Inter Communication No4」
 6. 対談・モンローチェア, 磯崎新 X 奥出直人 (93/6) 「家具言語」
 7. コンピュータはデザインをどう変えているのか (93/6) 「デザインの現場」

8. エレクトロニックフロンティアとしてのインターネット (93/8)「Traffic&Business」
 9. マルチメディア環境を考える (93/8)「GRAPHICATION」
 10. メディア生態学 (93/12)「読売新聞」
 11. インテリジェントが沸き立つ社会, 江本佳隆 X 奥出直人 (93/12)「自動車とその世界」
 12. パーソナル・メディア・プロダクション (94/1)「日経イメージ気象観測」
 13. 「ブック」というメディアあるいは読書空間 (94/1)「たて組よこ組」
 14. ポップテクノロジーと加速するメディアコミュニケーション, 奥出直人 X 卷上公一 (94/2)「SYNC」
 15. メディアリテラシー 「機械振興」
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
情報処理学会情報メディア研究会発表

- 氏名 (Name)
小此木啓吾 (Keigo Okonogi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
行動環境設計論 I 講義, 保健衛生講義
- 研究分野 (Research Areas)
人間環境と適応, 対人相互作用 (特に母子相互作用), 心身の発達, 心理療法及びカウンセリング, 職場のメンタルヘルス, 精神病理, その他
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
I・FEEL Picture 日本版の研究, 育児困難を訴える母親の診断と治療, 職場不適応とその対策, その他
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
心身ウェルネスセンター所長
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本精神分析学会運営委員, 教育研修委員, 厚生省臨床心理技術者資格認定委員会委員, 日本思春期青年期精神医学会副会長, 日本ストレス学会理事, 世界乳幼児精神保健学会東京大会 (1994) 会長, 小寺記念精神分析研究財団理事長, 中山記念科学振興財団選考委員, メンタルケア協会副会長, その他
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「フロイトの読み方, フロイトの症例」現代のエスプリ 817. 1993年12月
 2. 「精神分析に見た暴力の心理, 暴力の行動科学」現代のエスプリ 320. 1994年3月
 3. 「パタニティ・ブルーの心理」「周産期医学」Perinatal Medicine 1994 Vol.24 No.2(東京医学社) 1994年
 4. 乳幼児発達研究の源流 - フロイトからスピッツへ - 「母と乳幼児のダイアローグ」丹羽淑子編著 1994年2月
 5. 「フロイトとの再会」季刊「AZ」春 小此木啓吾編著 (新人物往来社) 1994年4月
 6. 「乳幼児精神医学の方法論」編集 小此木啓吾他 (岩崎学術出版社) 1994年4月
 7. 「ママと赤ちゃんの心理療法」ベルトラン・クラメール 小此木啓吾 福崎裕子訳 (朝日新聞社) 1994年4月

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 精神療法フロイト - その自己分析の創造性と限界 - 日本病跡学会シンポジウム 東京 1993年4月
2. Cultural Aspects of Child Development ,The Annual Meeting of Society for Research of Child Development シンポジウム ,New Orleans, 1993年4月
3. Symposium of Child Development, Study Center University of Calif.Berkeley. 1993年4月
4. シンポジウム, 不況時における職場のメンタルヘルス, 精神分析学振興財団 1993年6月
5. 特別講演, 心身医学と乳幼児精神医学, 日本心身医学関東地方会,1993年9月
6. 特別講演, 対象喪失と mourning, 全国ターミナルケア研究会,1993年10月
7. 特別講演, 情動とストレス, 日本ストレス学会第9回学術総会,1993年11月
8. Presidential Address, WAIMH Reagional Meeting in Tokyo, 1994年4月

- 氏名 (Name)
加藤文俊 (Fumitoshi Kato)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
コミュニケーション論 (とくに intra-personal communication), メディア環境論
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Kato, F. (to be published). Information diet: A study of health claims regulation. Occasional Papers in Communication, Information, and Library Studies, 4.
- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)
 1. Lederman, L., & Kato, F. (in progress). Imagine That! Ondisc: A simulation of choices. [Environment: HyperCard(TM) 2.1].
 2. Kato, F., Kesselman, M., & Yalpani, P. (1993). InfoWeb: The world of science information. Library of Science and Medicine, Rutgers University. [Environment: Course Builder(TM) 4.13].

- 氏名 (Name)
金安岩男 (Iwao Kaneyasu)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
地理学, データ解析法, フローデザイン論, 研究会 (「都市・地域の研究」)
- 研究分野 (Research Areas)
地域計画, 景観研究
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「景観の構造と形成に関する研究」 (文部省科研費)
 2. 「エコロジーとデベロップメント」 (日本計画行政学会)
 3. 「交通と環境情報社会」 (JR 東日本と慶應義塾大学の協同研究)
 4. 「台湾の都市発展プロセスの研究」 (慶應義塾大学学事振興資金)
 5. 「景観ダイナミクス」 (文部省科研費申請)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員会, 学生部副部長 (湘南藤沢支部長), スチューデントライフ委員会, SFC 周辺地区開発構想委員会, その他委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本地理学会 研究奨励賞選考委員, 国土庁 新しい社会資本整備のあり方研究会 委員, 日本経済新聞社 新しい電子情報サービスに関する調査研究委員会委員, 通信機械工業会 家庭・地域社会情報化調査委員会委員長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『景観の構造と形成に関する研究』 編著, 文部省科研費, 1994
 2. 『ネットワークがひらくあたらしいコミュニティの創造』 編著, 通信機械工業会 家庭・地域社会情報化調査委員会, 1994
 3. 『味な山形』 共著, 山形県生涯学習センター, 1994
 4. 「情報時代における都市」, GOODSCENE 014, 1994
 5. 『広域都市圏における湾岸域の環境計画』 共著, 文部省「人間-環境系」重点領域研究, 1993
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「屋外広告物と景観」, 文部省「人間-環境系」重点領域研究, 1993

2. 「都市開発の新しい構図,」 神奈川県市街地整備研究会, 1993
 3. 「地域特性をいかしたまちづくりを考える」, 神奈川県湘南地区行政センター職員研修会, 1993
 4. 「情報時代の都市」, Good Scene フォーラム, 東京電力, 1993
 5. 「ポスト資本主義社会」(コーディネータ), 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 1993
 6. 「景観を考える - 景観ダイナミクスの提唱 -」(コーディネータ), 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 1993
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
書評 西村幸夫著「歴史を生かしたまちづくり」 地理 10月号 1993

- 氏名 (Name)
川勝久 (Hisashi Kawakatsu)
- 担当科目 (ScholasticActivity:Teaching)
class: Information Environment, Information Media, Information Activities. Workshop "Permissible Lies" "Effective Presentations" "Brainpower" "What Futurists See"
- 研究分野 (Research Areas)
Tokyo Broadcasting System(TBS).Held increasingly progressive position as Commercial Producer,Promotions Director,and Research Manager,from 1953 to retirement in 1986.
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
Carrier Development Planning Committee
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
Official Activities: 1970 to present:Member , Japan Mass Communication Society, 1976 to present:Member , Japan Advertising Society, 1978 to present: Director, Japan Marketing Association, 1981 to present: Special Advisor to Honolulu Marathon Association, Lectures: About 50 per year on "Service Economy," "Customer Satisfaction," and "Informationology" conducted throughout Japan to Business and Public groups.

- 氏名 (Name)
久保幸夫 (Sachio Kubo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
画像解析論, 環境情報システム論, 研究会
- 研究分野 (Research Areas)
地理情報システム (GIS) の技術開発と利用, 地球測位システム (GPS) の利用技術, 環境計測技術
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. Far East GIS Conference(シンガポール) 参加
 2. GPS を用いた環境計測 (1993 年 6 月～9 月, オーストラリア, ニューサウスウェールズ州)
 3. Invited Member, International Symposium on Integrating Environmental Models and GIS Steering Committee(1993 年 6 月～9 月)
 4. 都市エネルギー収支に関する研究 (1993 年 9 月～1994 年 2 月,SFC 周辺)
 5. マルチメディア CD-ROM の作成の実験 (1993 年 10 月～1994 年 2 月)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
国際地理学連合 (IGU) 「地理情報システム委員会」委員長, 日本地理学会「地理情報システム研究グループ」主査, 地理情報システム学会理事, 都市計画学会論文委員会委員, 情報処理学会画像処理研究会委員, 日本コンピュータグラフィックス協会マッピング分科会委員長, 日本コンピュータグラフィックス協会教育分科会委員, 日本 Arc/Info ユーザーズグループ代表, GIS 教育ワークショップ 主催者, International Symposium on Environmental Modelling Steering Committee:member, Asia GIS/LIS, AM/FM and Spatial Analysis Conference International Program Committee:member
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
翻訳
 1. 1993『GIS 技術論, NCGIA GIS Core Curriculum』, 慶応義塾大学, xvi+383 ページ
 論文
 1. 1993 海外の地理情報システム, 統計, 44(4), pp.13-19.

2. 1993 「時空間分析としての地理情報システム」, 重点領域研究『近代化による環境変化の地理情報システム』最終報告書, pp.142-175.
3. 1994 Japan, International GIS Source Book, GIS World, pp.289-290
4. 1994 「景観モデリングのためのマルチメディア地理情報システム」, 科研費一般研究 B 『景観の形成と構造に関する研究』報告書, pp.67-76.
5. 1994 「環境データロギングシステムの開発」, 科研費試験研究 B 報告書, 52 ページ

その他の出版物

1. 1993 「マップアナリストリファレンスガイド」, 日本インターグラフ社
 2. 1993 「マップアナリストユーザースガイド」, 日本インターグラフ社
 3. 1994 重点領域研究『近代化による環境変化の地理情報システム』 CD-ROM 版報告集
 4. 1994 「地名データベース」 CD-ROM
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
- GIS 教育ワークショップ, 1993 年 5 月 15 日, 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス◎館にて開催。約 150 名が参加し, 地理情報システムの教育方法に関して研究発表, およびパネルディスカッションを行なった。
- 主催: 重点領域研究『近代化による環境変化の地理情報システム』総括班
共催: GIS 学会, 日本地理学会 GIS 研究グループ

- 氏名 (Name)
熊坂賢次 (Kenji Kumasaka)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
現代と社会システム, 社会調査法, 社会環境論, 情報社会論
- 研究分野 (Research Areas)
現代社会論, ライフスタイル論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
SFC コンソーシアム <ボイス・プロジェクト, ラストリゾート>
- 学内委員等 (University Service, Committee etc.)
学部新カリキュラム小委員会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
湘南ブランド商品開発会議座長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「ミドルに迫る2つのリストラ：組織改革と意識改革」ニュー人事システム 93.4
 2. 「組織研究：インテル・ジャパン」ニュー人事システム 93.9
 3. 「デジタル環境が創造性を目覚めさせるか？」GRAPHICATION 69 93.10
 4. 「組織研究：前川製作所」ニュー人事システム 93.12
 5. 「リエンジニアリングは日本に根づくか？」ニュー人事システム 94.1
- 解説・評論等 (Survey Papers and Ctitiques)
 1. 「デジタル化された環境と思考」 日経新聞
 2. 「メタファーとしてのクライアント・サーバシステム」日刊工業新聞

- 氏名 (Name)
斎藤信男 (Nobuo Saito)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
環境情報システム論, 情報処理系論, 情報処理 I, システム論
- 研究分野 (Reseach Areas)
計算機科学, 特にオペレーティングシステム, 並列/分散処理, プログラム理論, ソフトウェア工学, 文書処理など
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activitiy)
 1. SFC 研究コンソーシアム (オープンメディア研究プロジェクト)
 2. 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業プロジェクト
 3. 文部省科研費重点領域「超並列原理に基づく情報処理体系」C 班 (超並列制御系・処理体系に関する研究班) 班長
- 学内委員等 (University Service,Committee etc.)
SFC 運営委員会委員, 大学評議会委員, 湘南藤沢メディアセンター所長, メディアセンター協議会委員, 環境情報研究所運営会議委員, ネットワークシステム委員会委員長, CDP 委員会委員, 人工言語カリキュラム小委員会委員, ラップトップ小委員会委員長, 施設・設備拡充小委員会委員長
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会理事, 計測自動制御学会, 日本ソフトウェア科学会, ACM, IEEE Computer Society, TUG (TeX Users Group), 日本 UNIX ユーザ会, 情報処理学会システムインタフェース検証研究グループ主査, 情報規格調査会 POSIX WG 主査, 同 C++ WG 主査, POSIX JIS WG 主査
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Paper)
 1. 藤井敬三, 斎藤信男, 「動画像の動的 QOS 制御方法の提案」, 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業, 情報処理振興事業協会, 1994, 3
 2. 藤井敬三, 斎藤信男 「任意ビットレート下における動画像の動的 QOS 制御方法の提案」, 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業, 情報処理振興事業協会, 1994, 3
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 徳田, 斎藤 「マルチメディア統合基盤環境プロジェクトにおけるリアルタイム処理技術」, 実時間処理に関するワークショップ (RTP '93), 情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会

2. 斎藤, ほか「マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価」, 実時間処理に関するワークショップ (RTP '93), 情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会
 3. 斎藤, ほか「動画像の動的 QOS 制御方法の提案」, マルチメディア通信と分散処理研究会
 4. 斎藤, ほか「任意ビットレート下における動画像の動的 QOS 制御方法の提案」情報処理学会第 48 回全国大会
 5. 「超並列システム用オペレーティングシステム COS の研究」, 文部省重点領域研究, 超並列原理に基づく情報処理基本体系第 3 回シンポジウム
 6. 斎藤, ほか「分散共有メモリ型並列計算機の OS 開発のためのクロス開発環境」, 第 96 回ソフトウェア工学研究会
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. システム/制御/情報, 「ワークステーションとネットワーク」システム制御情報学会, Vol.38.No.4, 1994

- 氏名 (Name)
坂根巖夫 (Itsuo Sakane)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
現代芸術, 環境デザイン, 環境芸術, 研究会 1, 研究会 2.
- 研究分野 (Research Areas)
科学と芸術の境界領域における新しい文化現象の現象学的研究 (Cultural Phenomenology in the Field of Art, Science and Technology)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
Exchanging and Comparative Study on the Multi-media Art through the Network Communication.
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
設備環境小委員会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
国際科学・技術・芸術協会 ISAST 機関誌 LEONARDO 国際共同編集者 (International Co-editor of LEONARDO), A journal of ISAST(International Society of Arts, Science, and Technology) published by MIT Press. 下中教育映像助成金審査委員, 下中記念財団評議員, 93年ふくい国際ビデオビエンナーレ第3回国際 Tel-Image 展コンテスト審査員, 93年11月福井県三国町主催第1回トリックアートコンペ審査員, 財団法人国際デザイン交流協会主催第6回・第7回国際デザイン・コンペティションテーマ委員, Nominator for Interactive Media Festival 94, (3945 Freedom Circle, 9th Floor, Santa Clara, CA 95054, USA), An Awards Judge Nominator for 1994 Canadian Academy for Multimedia Arts and Sciences (Awards Office, 302-317 Adelaide Street West, Toronto, ON CANADA M5V 1P9)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「淡路島で開かれた環境芸術祭」民族芸術 (Vol.9 1993 民族芸術学会編, 談社刊) 1993.4.(pp.187)
 2. 「自動機械と人間の共生」(Only Yesterday[1893-1993]) モービル石油 KK 広報室, 1993.5.
 3. 「イマジナリー・ミュージアムの時代」特集[美術館と映像] 映像学 ICONICS No.49 1993 (pp.25-40) (日本映像学会発行)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 1993.1.29, 武蔵野市老壮大学院講演 武蔵野市庁舎内 武蔵野市老壮連合
 2. NICOGRAPH'93 セミナー 9 [立体視 — アートから VR まで]
「立体視現象の流行とその現代的意味 — 知覚芸術の新しい胎動に向けて—」
(池袋サンシャインビルで)
 3. 1993.11.20: 武庫川女子大生活美学研究所シンポジウム講演
 4. 1993.11.25: SFC フォーラム・ランチョン講演
「高度情報化社会から高度文化社会への転換 —
世界の科学・技術・芸術の融合運動の現状と未来」
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 「トランス・カルチャー時代への胎動」(平凡社刊『現代デザイン事典』1994
年版・特集巻頭原稿 (pp,1-7)(1994.3.22.)
 2. 「インタラクティブ・アート — 世界を再発見する試みとしてのアート&テ
クノロジー」[坂根巖夫+山口勝弘対談](InterCommunication 7, NTT 出版
ICC, 1993)
 3. 「立体視の魅力を求めて — そのロマンによせる科学と芸術の出会い」(CG-
STEREOGRAM 2) (1993.5.1., 小学館)
 4. 「立体視知覚とアート — 素朴な驚きから意識芸術まで」東京都立写真美術
館企画展
(3D LOVE — 立体視への招待)(1993.6.18.-7.06) のカタログ原稿
 5. "The Random-Dot Stereogram and its Contemporary Significance:
New Directions in Perceptual Art", 'STEREOGRAM' (pp.73-82),
(1994, Cadence Books, San Francisco)
 6. "Interactive Art as a Cognitive Tool for Recovering the Self Consciousness",
'Artificial Games'(Medienlabor Munchen, 1993.11.7.)
 7. 「高度情報社会から高度文化社会への転換 — 世界の科学・技術・芸術の融
合運動の現状と未来」(SFC フォーラム・ニュース) No.11 1994.3.
 8. An Homage to Nam June Paik", 'Eine DATA Base' (1993, Edition Cantz, Stuttgart)
pp. 205 (93 年ベニス・ビエンナーレ, ドイツ館カタログ収録)

- 氏名 (Name)
佐々木 三男 (Mitsuo Sasaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
体育 (Physical education)
- 研究分野 (Research Areas)
体育方法学 (Methods of pyhsical education), スポーツ心理学 (Sport psychology)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
教材/教授法開発小委員会, 学生部委員, Student life 小委員会, 湘南藤沢学会幹事,
慶応義塾体育会副理事
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本学生バスケットボール連盟理事 (女子選手強化副部長), 関東女子学生バスケット
ボール連盟常任理事 (強化部長), 1993 ユニバーシアード夏期大会女子バスケット
ボール コーチ, 1993 全日本学生東西対抗 東軍 監督
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
1993 ユニバーシアード夏期大会 (ニューヨーク, バッファロー) 女子バスケット
ボール報告書 (日本オリンピック委員会)

- 氏名 (Name)
新海俊一 (Shunichi Shinkai)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
建築史, 建築・都市数理空間計画学, 都市解析
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 新海俊一, 鉄道利用の実態から見た首都圏の空間構造, 東京大学工学系研究科
 2. 新海俊一, 都市の空間構造に関する研究 (2), 首都圏鉄道網における時間帯別旅客流動の分析, 日本建築学会
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 新海俊一, 都市の空間構造に関する研究 (1), 首都圏の鉄道旅客流動分析, 日本建築学会大会学術講演会
 2. 新海俊一 (共著), 街区集合から見た都市空間の分析・その2, 横断コストによる街区集合の決定と分析, 日本建築学会大会学術講演会

- 氏名 (Name)
高橋潤二郎 (Junjiro Takahashi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
立地・空間分析
- 研究分野 (Research Areas)
都市システム, 地域開発, 特に情報社会における都市の空間構造に関する研究, アーバンゲーミングシミュレーションに関する研究
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
常任理事
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
地域学会理事, 不動産学会顧問, (財) 地域開発研究所所長, 首都機能移転問題に関する懇談会委員, 土地政策審議会委員, 神奈川県総合計画審議会委員, 藤沢市総合計画審議会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「自治体と企業の文化連携」, 21世紀へのニューマネジメント [PART2 新世紀への企業環境] 企業と文化, 綜合法令, 5巻, 1993年4月
 2. 「環境共生都市づくり」-エコシティガイド-, (株) ぎょうせい, 1993年7月
 3. 「日本の国土計画」-全総から四全総へ-, 経済学論纂, 34巻3・4号, 1993年10月

- 氏名 (Name)
武藤佳恭 (Yoshiyasu Takefuji)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
Information Processing Systems, Artificial Learning, IP
- 研究分野 (Research Areas)
Neural computing, management Science, medical imaging, problem-solving
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. Neural Computing (TEPCO)
 2. Neural Computing (KAST)
 3. Neural Computing (Hitachi Software Eng.)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
Library, Network, Database committee
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
IEEE conference organizer and committee member, book-publishing decision committee for WSP・Kluwer・VNR, guest editor of Neurocomputing and JAICSP
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. A parallel multi-layer channel router on the HVH model, Parallel Computing, vol.19, no.1, p. 63-77, 1993
 2. A parallel algorithm for broadcast scheduling problems in packet radio networks, IEEE Transactions on Communications, June 1993, vol.41, (no.6):828-31.
 3. A neural network approach to topological via-minimization problems, IEEE Transactions on Computer-Aided Design of Integrated Circuits and Systems, June 1993, vol.12, (no.6)p.770-9.
 4. Comparisons of seven neural network models on traffic control problems in multistage interconnection networks, IEEE Transactions on Computers, April 1993, vol.42, (no.4)p.497-501.
 5. A parallel algorithm for traffic control problems in three-stage connecting networks, Journal of Parallel and Distributed Computing, 1994, vol.20, no.2, p. 236-40

6. Hopfield-Tank neural network applied to the unitized maximum flow problem, to appear in IEEE Trans. on Circuits and Systems.
 7. Author's reply: comments on artificial neural networks for four-coloring map problems and k-colorability problems, to appear in IEEE Trans. on Circuits and Systems.
 8. Scaling Properties of Neural Networks for Job-Shop Scheduling, to appear in Neurocomputing
 9. A neural network algorithm for no-three-in-line problems, to appear in Neurocomputing.
 10. Neural computing on a parallel machine for channel routing problems, to appear in Neurocomputing.
 11. Comment to the facility layout problem, to appear in European Journal of Operations research.
 12. Neural Networks in Design and Manufacturing, J. Wang, and Y. Takefuji, World Scientific Publishers (1993)
 13. Analog VLSI Neural Networks, Y. Takefuji, Kluwer Academic Publishers (1993)
 14. Neural Computing for Optimization and Combinatorics, J. Wang, and Y. Takefuji, World Scientific Publishers (1994)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. Neural and backtracking algorithms for N-queen problems, Proc. of the world conference on neural networks'93
 2. A neural network parallel algorithm for facility layout problems, Proc. of the world conference on neural networks'93
 3. A near-optimum parallel algorithm for one-dimensional gate assignment problems, Proc. of the IJCNN'93
 4. Neural computing for optimization and combinatorics, Proc. of the 1993 Fall National Conf. of ORSJ

- 氏名 (Name)
武山 政直 (Masanao Takeyama)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia
- 研究分野 (Research Areas)
空間的モデル・シミュレーション, 地理情報システム (GIS), システム理論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. Geo-Algebra: A Mathematical Framework Integrating Geographic Information Analyses.
 2. 景観シミュレーションソフトを用いたプレゼンテーション技法の開発
 3. GEOCELLULAR: A Geographic Cellular Automata Simulator
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
Association for American Geographers, 日本地理学会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Takeyama, M. and H. Couclelis (1994) Geo-Algebra: A Mathematical Framework Integrating Dynamic Spatial Modeling and Map Algebra. Paper Presented at AAG '94.
 2. Takeyama, M. (1994) Mapping Geographic Models into Abstract Map Algebra. (To be published).
 3. Takeyama, M. (1994) GEOCELLULAR: The Programmable Landscapes. National Center for Geographic Information and Analysis (To be published).
- 学会・研究会発表 (LIST of Conference and Seminar Presentations)
 1. Takeyama, M. and H. Couclelis (1994) Geo-Algebra: A Mathematical Framework Integrating Cellular Automata and Map Algebra, The Annual Meeting for the Association for American Geographers.
 2. Takeyama, M. (1993) Geocellular Demo, The Board of Directors Meeting, National Center for Geographic Information and Analysis, Santa Barbara, CA.

- 氏名 (Name)
千代倉弘明 (Hiroaki Chiyokura)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 II グラフィックスコース, デザイン支援論, 情報環境設計論, 創造メディア論 (大学院)
- 研究分野 (Research Areas)
C A D (Computer Aided Design), 医学への C G 応用
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学院設置委員, 湘南藤沢学会委員, 学習指導委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
EUROGRAPHICS Technical Committee, CG International Technical Committee, Pacific Graphics Technical Committee, ニコグラフ論文委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
著書
 1. H.Toriya and H.Chiyokura, *3D CAD Principle and Applications*, Springer-Verlag, 1993
 論文
 1. J.Sone and H.Chiyokura, Generation of a single Gregory surface from 3-D Measurement Data *Computer Graphics and Applications*, S.Y.Shin and T.L.Kunii, Eds., World Scientific, London, 1993.
 2. J.Adachi, T.Hara, N.Kusu and H.Chiyokura, Surgical Simulation using Raoid prototyping, *Rapid prototyping conference*, SME, 1993.
 3. M.Kobayashi, T.Fujino, H.Nakajima and H.Chiyokura, Significance of Solid Modelling of the Skull using Laser-curable Resin in Simulation Surgery, *European Journal of Plastic Surgery*, Springer-Verlag, 1993.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 早野, 高田, 渡辺, 梅原, 千代倉, 外科シュミレーションのための輪郭線からのソリッドモデル自動生成, ニコグラフ, 1993.
 2. 曾根, 渡辺, 山川 千代倉, 一般境界 Gregory パッチを用いた柔軟な曲面形状制御, ニコグラフ, 1993.

3. 渡辺, 北川, 曾根, 千代倉, NURBS 境界 Gregory 曲面を用いた曲面の形状制御, 情報処理グラフィックスとCAD研究会, 1994.
4. H. Chiyokura, Surface Modeling using Control Point based Gregory Patches, 招待講演, SIAM Conf. of Geometric Design, 1993.

- 氏名 (Name)
塚越 功 (Isao Tsukagoshi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
政策メディア研究科；生活環境設計論（94年3月以前 国連地域開発センター防災計画主幹）
- 研究分野 (Research Areas)
都市・建築・防災
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 都市・建築の災害対策に関わる開発途上国協力
93年2月:UNCRD-CIRDAP Workshop on Development of Modules for Training on Integrated Approach to Disaster Management and Regional/Rural Development
93年5月・9月: Training Programme on Earthquake Engineering and Disaster Management for Establishing Building Administration Systems in Phillippines
93年11月: IDNDR(International Decade for Natural Disaster Reduction)Aichi/Nagoya Conference 1993 Japan;on Disaster Management in Metropolitan Areas for the 21st Century
 2. 災害現地調査
93年7月: 北海道南西沖地震の調査
—United Nations Centre for Regional Development “Midsummer Night’s Disaster: Report of a Quick Response Survey on the Southwest-Hokkaido Earthquake” Nov,1993
94年2月: Northridge 地震の調査
 3. その他
94年5月: World Conference on Natural Disaster Reduction in Yokohama に出席
94年6月: 建築士会熊本支部「水害対策シンポジウム」パネラー
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
CDP 委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
地域安全学会理事, 日本建築学会 防火委員会委員, 木造建築研究フォーラム理事, 東京消防庁火災予防審議会委員, 日本建築センター 防火安全性能検討委員会木三共部会部会長

- 氏名 (Name)
徳田英幸 (Hideyuki Tokuda)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia, 情報処理 IIs, 通信・情報理論, 自律分散協調論, メディア構成論
- 研究分野 (Research Areas)
計算機科学, 分散/並列システム, オペレーティングシステム, コンピュータネットワーク, モービルコンピューティング
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア研究開発プロジェクト
 2. 文部省科研重点領域: 超並列原理に基づく情報処理基本体系
 3. 文部省科研:マルチメディア処理のためのオペレーティングシステムの研究開発
 4. SFC コンソーシアム: オープンメディアプロジェクト
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
SFC 運営委員会委員, 大学院実行委員会委員, メディアセンター長補佐, ネットワーク委員会委員, Laptop 委員会委員, CATV 委員会委員長, AV 委員会委員長
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
14th IEEE Real-Time Systems Symposium Program Committee, 10th IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software Program Committee, The 3rd International Workshop on Responsive Computer Systems Program Committee, The 6th Euromicro Workshop on Real-Time Systems Program Committee, Joint Symposium on Parallel Processing 1994 (JSPP '94) Program Committee, 情報処理振興事業協会 (IPA) 技術動向委員会委員, 情報処理振興事業協会 (IPA) 開放型基盤技術開発評価事業開発推進委員会委員,
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Mercer, C. W., S. Sage, and H. Tokuda, "Processor Capacity Reserves for Multimedia Operating Systems", Proceedings of IEEE International Conference on Multimedia Computing and Systems, May 1994.
 2. Oikawa, S. and H. Tokuda, "User-Level Real-Time Threads", Proceedings of IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software, May, 1994.

3. Nakajima, T., T. Kitayama, A. Hiroshi, and H. Tokuda, "Integrated Management of Priority Inversion in Real-Time Mach", Proceedings of Real-Time Systems Symposium, December, 1993.
4. H. Tokuda and T. Kitayama: "Dynamic QOS Control based on Real-Time Threads", Proc. of the 4th Int. Workshop on Network and Operating Systems Support for Digital Audio and Video, pp. 113-122, 1993.
5. S. Oikawa and H. Tokuda: "User-Level Real-Time Threads: An Approach Towards High Performance Multimedia Threads", Proc. of the 4th Int. Workshop on Network and Operating Systems Support for Digital Audio and Video, pp. 61-71, 1993.
6. Mercer, C. W., Savage, Stefan, and Tokuda, Hideyuki, Proceedings of the Fourth Workshop on Workstation Operating Systems (WWOS-IV), October 1993.
7. Katcher, D.I., H. Arakawa, J. K. Strosnider, H. Tokuda, "Modeling and Validation of the Real-Time Mach Scheduler", Proceedings of ACM SIGMETRICS Conference on Measurement and Modeling of Computer Systems, pages 195-206, May 1993.
8. Nakajima, T., Kitayama, T. and Tokuda H, "Experiments with Real-Time Servers in Real-Time Mach", Proceedings of 3rd USENIX Mach Symposium, April 1993.
9. Savage, S. and Tokuda, H., "RT-Mach Timers: Exporting Time to the User", Proceedings of 3rd USENIX Mach Symposium, April 1993.
10. 徳田, 斎藤: "マルチメディア統合環境プロジェクトにおけるリアルタイム処理技術", 情処研報 93-ARC-99, pp. 9-15, 1993.
11. 斎藤, 徳田, 萩野, 追川, 天明, 緒方, 大町, 和田, 堀切, 平林, 多田, 藤井, 矢崎, 薄, 田中, 人見, 小野, 南部: "マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価", 情処研報 93-ARC-99, pp. 17-24, 1993.
12. 緒方, 人見, 和田, 追川, 徳田: "Real-Time Mach 3.0 の評価と改良", 情処研報 93-ARC-99, pp. 61-68, 1993.
13. 南部, 木原, 徳田, 塩野崎, 福島: "マルチメディア統合環境におけるリアルタイム通信プロトコルへの課題", 情処研報 93-DPS-60, pp. 81-88, 1993.
14. 船渡, 徳田: "Real-Time Mach 3.0 における連続メディアサーバの実験—QOS 制御を取り入れた QuickTime Player の評価—", 情処研報 93-OS-60, pp. 75-82, 1993.
15. 西尾, 追川, 緒方, 尾上, 河内谷, 塩野崎, 南部, 持田, 和田, 徳田: "マイクロカーネルによる連続メディア処理の基盤技術", 第 5 回コンピュータシステム・シンポジウム論文集, 情報処理学会, pp. 17-24, 1993.

16. 望月, 峯尾, 村井, 徳田: “汎用機器の統合制御による日常研究活動の支援システムの構築”, マルチメディア通信と分散処理/グループウェア合同研究会, 情報処理学会.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. The 13th IEEE Real-Time Systems Symposium
 2. The 10th IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software (RTOS-93)
 3. The 3rd USENIX Mach Symposium
 4. The 3rd International Workshop on Network Operating System Support for Digital Audio and Video (NOSSDAV-93)
 5. The 5th Euromicro Workshop on Real-Time Systems
 6. The 4th IEEE/ACM Workshop on Workstation Operating Systems
 7. Real-Time Mach Workshop '93
 8. 情報処理学会 第5回コンピュータシステム・シンポジウム
 9. 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会
 10. 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会
 11. 情報処理学会 全国大会 (第47, 48回)
 - 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 猪原, 緒方, 新城, 寺岡, 徳田, 所, 中島, 横手”SOSP'93: オペレーティングシステムに関する国際会議に参加して”, ソフトウェア, Vol.11, No 2, 日本ソフトウェア科学会.
 2. 緒方, 徳田, ”The 14th Real-Time Systems Symposium (RTSS '93)に参加して”, 実時間処理に関するワークショップ (RTP '94), コンピュータシステム研究会 & フォールトトレラントシステム研究会, 電子情報通信学会.

- 氏名 (Name)

富田勝 (Masaru Tomita)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)

情報処理 I(1年), 情報処理 II(2年), 自然言語論 I(3, 4年), 情報数学第3 (慶大理工学部4年), 研究会 (3, 4年)

"Introduction to Artificial Intelligence" at School of Computer Science, Carnegie Mellon University Fall 1993

- 研究分野 (Research Areas)

自動翻訳, 音声認識, 人工知能

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)

Chairman: ACL Special Interest Group on Parsing (SIGPARSE),

Conference Program Committee Member: 6th International Symposium on Artificial Intelligence[1993] (Monterrey, N. L., Mexico), 3rd International Workshop on Parsing Technologies [1993] (Tilburg and Belgium),

Technical Journal Editorial Board Member: Machine Translation journal, 自然言語処理学会誌

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

Journal Articles

1. "Efficient Generalized LR Parsing of Word Lattices" Lavie, A. and Tomita, M. Journal of Mathematics and Artificial Intelligence, 1993
2. 機械翻訳システムと大学教育, 富田勝, 情報の科学と技術 Vol.43 No.5 (1993.5)

Refereed Papers in Conference Proceedings

1. "Recent Advances in JANUS: CMU's Speech Translation System" M.Woszczyna, O.Barkai, N.Coccaro, A.Eisele, A.McNair, I.Rogina, C.P.Rose, T.Sloboda, M.Tomita, N.Aoki-Waibel, A.Waibel and W. Ward; DARPA Workshop on Human Language Technology, Princeton, 1993
2. "Recent Advances in JANUS: CMU's Speech Translation System" M.Woszczyna, O.Barkai, N.Coccaro, A.Eisele, A.McNair, I.Rogina, C.P.Rose, T.Sloboda, M.Tomita, N.Aoki-Waibel, A.Waibel and W. Ward; The Fifth International Conference on Theoretical and Methodological Issues in Machine Translation (TMI93), Kyoto, Japan, 1993

3. "Evaluation of MT by TOEFL" Tomita, M, Shirai, M., Tsutsumi, J., Matsumura, M. and Yoshikawa, Y.; The Fifth International Conference on Theoretical and Methodological Issues in Machine Translation (TMI93), Kyoto, Japan, 1993
 4. "Efficient Generalized LR Parsing of Word Lattices" Lavie, A. and Tomita, M.; Third Bar-Ilan Symposium on the Foundation of Artificial Intelligence (BISFAI-93), Israel, 1993
 5. "GLR* - An Efficient Noise-Skipping Parsing Algorithm for Context-Free Grammars" Lavie, A. and Tomita, M.; The Third International Workshop on Parsing Technologies (IWPT93), Tilburg and Belgium, 1993
 6. "Sacrificial Acts in Single Round Prisoner's Dilemma" Tomita, M. and Kido, T.; Proceedings of the AI'93 workshop on Evolutionary Computation, Melbourne, 1993
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. December 1993; University of Twente (The Netherlands)
 2. October 1993; SONY Corporation (Tokyo)
 3. Public Demonstrations : Janus: ARPA Workshop on Human Language Technology [1993](Princeton, NJ) with Waibel A. and others, C-STAR Speech Translation: (Pittsburgh, Kyoto and Munich) [1993] with many others.
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

Presidential Young Investigator Award : from National Science Foundation 5th year 1993/1 - 1993/8

- 氏名 (Name)
富永 健一 (Ken'ichi Tominaga)
- 担当科目 (Scholastic Activity: Teaching)
社会環境論, 社会動態論, 研究会 1(近代化), 研究会 2(社会階層)
- 研究分野 (Research Areas)
社会学 (行為理論, 社会システム理論, 社会変動・近代化論, 社会階層の計量分析, 経済社会学, 組織理論)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本社会学会理事, 経済社会学会常任理事, 社会学史学会常任理事, ISA(国際社会学会) プログラム委員会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Referred Papers)
 1. European Sociology and the Modernization of Japan, in: Birgitta Nedelmann and Piotr Sztompka, eds., *Sociology in Europe*, Berlin and New York: Walter de Gruyter, 1993, pp.191-209.
 2. Modernisierung Japans und die soziologische Theorie Max Webers (in: *Japan und Max Weber* ミュンヘンで行なわれた日独シンポジウムへの提出論文。他の提出論文とともに出版される予定)
 3. 社会環境論研究ノート 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要第 36 号:pp.123-136
 4. エンサイクロペディアブリタニカ大項目「社会学」
 5. 戦後日本の社会変動と日本的雇用システム (連合総合生活開発研究所シンポジウム「新しい生き方を求めて」報告 pp.37-41 と討論)
 6. 「池辺三山」池辺一郎と共著 (中公文庫)

- 氏名 (Name)
苗村 憲司 (Kenji Naemura)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
論理学 a・b, 情報処理 I a・b, 計算機能論
- 研究分野 (Research Areas)
情報通信システム, 計算機システム構成, プロトコル, 論理数学, 符号, 情報通信セキュリティ, 技術標準, 知的財産権
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
SFCコンソーシアム「知的財産情報の流通システム」
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
CDP委員会, 就職部湘南藤沢支部
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会 論文査読委員, 情報処理学会 情報規格調査会 委員, 情報処理学会 情報規格調査会 SC27 専門委員会 委員長, 電信電話技術委員会 工業所有権等基本指針等検討委員会 委員長, 知的財産研究所 知的財産の保護のあり方に関する研究会 委員
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. K. Naemura, "User Involvement in the Life Cycles of IT and Telecommunications Standards", presented at International Workshop on Standards, Innovation, Competitiveness and Policy, University of Sussex (Nov. 1993)
 2. 苗村「電気通信関連分野の標準化機関の現状と展望」, ITU-T 研究会資料, 新日本 ITU 協会, 東京 (Nov. 1993)
 3. 苗村, 菅, 宝木, 宮口「ISO/IEC JTC1/SC27 における情報セキュリティ技術標準化の動向」, SCIS94, Symposium on Cryptography & Information Security, IEICE, Biwako (Jan. 1994)
 4. 苗村「国際的調和時代における知的財産権のあり方について」, 知的所有権講演会, 発明協会愛知県支部 (Mar. 1994)
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 苗村「新しい情報技術標準化環境におけるユーザと政府の役割について」, TTC Report, Vol.7, No.6, pp.16-20 (Feb. 1993)

2. 苗村「電気通信と情報処理の標準化をめぐって」, ITU ジャーナル, Vol.24, No.2, pp.8-15 (Feb. 1994)
3. 山本, 伊藤, 苗村, 麻生「知的所有権の国際的なハーモナイゼーションをめざして」, 通産ジャーナル, Vol.27, No.2, pp.20-25 (Feb. 1994)

- 氏名 (Name)
中村 修 (Osamu Nakamura)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータネットワーク, 大規模広域分散環境, オペレーティングシステム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
主に,WIDEプロジェクトにて大規模広域分散環境の研究をおこなう。
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ラップトップ委員会, ネットワークシステム委員会, 大学院ネットワーク環境の構築グループ
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
JEPG/IP メンバー,WIDEプロジェクトボードメンバー, InteropNet NOC Team 責任者

- 氏名 (Name)
西岡啓二 (Keiji Nishioka)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
組合せの理論, 形の理論, 量の理論, 数理モデル
- 研究分野 (Research Areas)
微分代数, 複素領域における微分方程式
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
Reviewer of (AMS) Mathematical Reviews
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Irreducibility of the linear differential equation attached to Painlevé's First Equation, Tokyo J. Math., 16(1993), 171-177
 2. Painlevé-Umemura extensions, Funkcialaj Ekvacioj, 37(1994)

- 氏名 (Name)
萩野 達也 (Tatsuya Hagino)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, 情報処理 IIC, 知識処理論 I, 分散知能論, プログラミング言語意味論
- 研究分野 (Research Areas)
システムソフトウェアと基礎理論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. オープンメディアコンソーシアム (オープン分散プロジェクト)
 2. 超並列原理に基づく情報処理基本体系 (科研費)
 3. 開放型基盤ソフトウェア研究開発プロジェクト (情報処理振興協会委託研究)
 4. KL1 による分散 AI の研究 (新世代コンピュータ機構委託研究)
 5. 教育ソフトウェアオーサリングツールの研究開発 (学事振興資金, 情報処理振興協会委託研究)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワークシステム委員会委員, ラップトップ委員会委員, 学習指導副主任
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
京都大学大型計算機センター計算機方式研究委員会委員, 国際情報科学芸術アカデミー (仮称) 開設準備検討委員会委員, KLIC テクニカルグループ委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. ToM Micro Kernel, System and Computers in Japan, Vol. 24, No. 9, 1993, pp. 14-21
 2. マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価, 電子情報通信学会信学技法 CPSY92-76 pp. 17-24, 1993
 3. Computer Literacy Education at Keio University SFC, Forth Annual Total Quality Symposium, Westin Crown Center, Kansas City, Missouri
 4. コンピュータの数学, 共立出版
 5. 実時間メディアサーバの設計, 情報処理学会 シンポジウム論文集 Vol. 93, No. 7, pp. 25-32
 6. 開放型基盤ソフトウェア湘南藤沢キャンパス研究室: “マイクロカーネル技術とその連続メディアサーバおよび連続メディアベースへの適用”, IPA 第 12 回技術発表会論文集, pp. 23-48

7. 開放型基盤ソフトウェア研究評価事業に係わる「マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア設計評価報告書」, 慶應義塾大学環境情報研究所
 8. 超並列システム用オペレーティングシステム COS の研究, 文部省重点領域研究「超並列原理に基づく情報処理基本体系」第4回シンポジウム予稿集, pp. 3-1 - 3-173
- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)
 1. 開放型基盤ソフトウェア湘南藤沢キャンパス研究室: “マイクロカーネル技術とその連続メディアサーバおよび連続メディアベースへの適用”, IPA 第12回技術発表会
 2. 開放型基盤ソフトウェア湘南藤沢キャンパス研究室: “マルチメディア環境とその動向”, マイコンシステム&ツールフェア '93 特別シンポジウム
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

SFC Award 1993

- 氏名 (Name)
服部隆志 (Takashi Hattori)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
(1994年4月より) 情報処理 Ibc, 情報処理 IIC
- 研究分野 (Research Areas)
様相論理プログラミング, 制約プログラミング, ユーザインターフェース
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
(1994年4月より) マルチメディアプラットフォーム
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. マルチメディア管理機能の設計指針を与える概念モデルの提唱 (共著), 情報処理学会プログラミング—言語・基礎・実践—研究会, 1993年1月
[概要] ワークステーション上での各種のマルチメディア・アプリケーションの開発を支援するプラットフォーム・システムには, マルチメディア管理のためのさまざまな機能が要求される。これらの諸機能に対して適切なインタフェースを設定するため, マルチメディアを抽象度に応じて3つのレベルで捉える概念モデルを提唱する。モデルの構成に当たっては, 実際のシステム開発の経験を踏まえ, UIMS との整合性を考慮した。特に, アプリケーション本体から実行環境に依存する部分を分離し, マルチメディア UI のモジュール化を図っている。また, 複合的なマルチメディア・アプリケーションの構築を行なうための枠組も提供される。
 2. 半順序優先度を用いた例と制約による編集, WISS'93, 1993年12月
[概要] テキスト編集操作を自動化するための方法を提案する。制約を定義することにより, 制約が満たされなくなった時に自動的に編集操作を補う。制約には半順序の優先度が与えられる。優先度はユーザとの対話を通して徐々に決定されていく。制約を充足させる方法はユーザの操作例から学習し, これにも制約の優先度とは別に優先度を与える。2種類の優先度によって無駄な動作が抑えられるため, 効率良く自動化することが可能である。

- 氏名 (Name)
日端康雄 (Yasuo Hibata)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
景観設計論, 都市構成論, 概念構築 2(環境), 研究プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
21 世紀の都市計画システム研究
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学院補佐, データベース委員会, メディア協議会, ERNS ユーザー協議会ほか
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本都市計画学会 評議員, 財団法人第一住宅建設協会 評議員, 財団法人地域社会研究所 評議員, 住宅地地審議会委員 (建設省), 経済審議会臨時委員 (内閣), 東京都住宅政策審議会委員, 茨城県開発審査会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 日本土地法学会 土地問題双書 30 土地利用計画の変更とその法理 (共著), 有斐閣, 1993.
 2. 21 世紀の都市づくり-地区の都市計画-(共著), 第一法規出版株式会社. 1993.
 3. 大都市都心周辺住宅地の定住政策にみられる土地利用規制の効果に関する一考察-東京都渋谷区神宮前地区を事例として-, 日本建築学会計画系論文報告集 No.448, 1993.
 4. 市街地の基盤整備における計画図の機能とその成立条件について-勝田市における試みの事例研究-, 日本建築学会計画系論文報告集 No.449, 1993.
 5. 地区を単位とした計画規制の実効性について-地区計画制度決定地区を事例として-, 日本都市計画学会都市計画論文集, 1993.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 東京都区部各自治体における住宅マスタープランの施策構成と人口特性との関連分析, 日本建築学会 1993 年度大会 (関東) 学術講演梗概集 F, 1993.
 2. 大規模土地利用転換プロジェクトにおける計画利益還元に関する実証的研究, 日本建築学会 1993 年度大会 (関東) 学術講演梗概集 F, 1993.

3. 東京の山手副都心ベルト・ゾーンにおける住宅地の用途混在とその変容の方向性, 日本建築学会 1993 年度大会 (関東) 学術講演梗概集 F, 1993.
4. 住居系地域への事業所の混入形態に関する実証的研究-渋谷区神宮前を事例に-, 日本建築学会 1993 年度大会 (関東) 学術講演梗概集 F, 1993.
5. 東京山手副都心帯における事業所集積から見た成長地区の類型化, 日本建築学会 1993 年度大会 (関東) 学術講演梗概集 F, 1993.

- 氏名 (Name)
福田忠彦 (Tadahiko Fukuda)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
生体情報論 I, 生体情報論 II, 知覚情報分析論, 研究会 1, 研究会 2
- 研究分野 (Research Areas) 人間工学, 視覚心理
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 人間のパターン認識に関する基礎研究 (学術振興資金)
 2. 感覚計測 (通産省)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員, 塾長賞選考委員, 図書委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本人間工学会評議委員・視覚エルゴノミクス研究部会委員, 照明学会視覚研究専門部会委員, SID(Society for Information Display) 国際プログラム委員, 労働省産業医学総合研究所流動研究員, 早稲田大学人間科学部客員研究員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 眼球運動の実験心理学 (名古屋大学出版会),
 2. Accommodation Response to Biocular Stereoscopic TV Images and Their Viewing Conditions, SMPTE(Society for Motion Picture and Television Engineering) Journal, Vol.102, No.12 (Dec.1993)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. C F F に影響を及ぼす要因とフリッカーの見え方,1993 年 3 月, 日本人間工学会, システム関連シンポジウム
 2. 形状知覚と運動知覚によって生じる注視点決定のための視覚情報処理モデル, 1993 年 3 月,1993 年電子情報通信学会春季大会
 3. 注視点分布による視環境の評価,1993 年 5 月, 日本人間工学会第 34 回大会
 4. 角度の知覚に関する基礎実験,1993 年 5 月, 日本人間工学会第 34 回大会
 5. 自動支払機の使いやすさに関する考察,1993 年 5 月, 日本人間工学会第 34 回大会
 6. 語学教材を効果的に作成するには? -視線の運動に基づく評価法-,1993 年 5 月, 日本人間工学会第 34 回大会

7. ハングル文字の視覚的情報受容に関する研究,1993年5月, 日本人間工学会第34回大会
8. テレビゲーム時における視覚情報の分析,1993年5月, 日本人間工学会第34回大会
9. 一目で読み取れる楽譜の数は?,1993年5月, 日本人間工学会第34回大会
10. Non-native が日本語を読む時の視線の動き,1993年12月, 眼球運動計測 S F C シンポジウム
11. スポーツ時における眼球運動,1993年12月, 眼球運動計測 S F C シンポジウム
12. テレビ画像の視覚情報受容に関する研究,1993年12月, 眼球運動計測 S F C シンポジウム
13. 視覚探索と眼球運動,1993年12月, 眼球運動計測 S F C シンポジウム

- 氏名 (Name)
藤幡正樹 (Masaki Fujihata)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 IIA, コンピュータ・アート II, 映像環境論, メディア空間論, プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータ・アート
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. TwisterGame on Network:
SiliconGraphics のマシン上に TwisterGame を作り, 実際にそのゲームをネットワークを通してプレイする中で新しいコミュニケーションのスタイルを探ろうというもの。操作性からむしろシンボリックなコミュニケーションについての研究に向かっている。
1994 年 2 月 16 日～18 日 イマジナ< - >慶應大学 SFC
1994 年 5 月 13～14 日 NetworkedReality'94< - >慶應大学 SFC
 2. 禁断の果実 Project:
コンピュータを用いて形を定義することから, 実際にそれを手に取れるような立体として作り出すというプロジェクト。形はどのようにして定義可能か?あるいはどこまでがアルゴリズム的に生成可能か?といった問題を扱う。
1993 年 11 月 6 日～12 月 1 日電子の皮膜・水のたてもの展 O-美術館
 3. マイクロ彫刻 Project:
マイクロマシン技術を用いて彫刻を作ろうというもの, 目標として 100 ミクロンの日時計を作るために研究中。
2nd IEEE International Workshop on "Emerging Technology and Factory Automation" 口頭発表, 1993 年 9 月 27 日～29 日オーストラリア・ケアンズ,
第 3 回 INSIDE EYE 8 人の彫刻家によるグループ展, 1993 年 9 月 6 日～28 日, 日鉱ギャラリー,
1993 年 10 月 大阪イトーキ巡回,
Imagina(MonteCarlo)にて富士山プロジェクトを合わせて発表
 4. 富士山 Project:
速度とスケール感覚をテーマにGPS やランドサットデータを用いて感覚のビジュアルライゼーションを行なう。
1993 年 8 月 30～31 日 富士登山,
1993 年 12 月 3 日 ICC ニュースクールにてレクチャー,
1994 年 7 月 15 日～8 月 11 日 ICC-Gallery にて発表予定

5. 脱着するリアリティー Project:

コードレスのヘッドフォンを用いて音によって生成される異なったリアリティーを横断あるいはジャンプしようというプロジェクト

1994年6月オーストリア・リンツにて発表を予定するが中途にて破談

● 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. 広告 1993年3・4月号 (博報堂) 表紙CG制作
2. VI・PRO Vol.1,2,3,4 編集協力,1993年6,8,10,12月
3. 鉄腕アトム全集7巻~15巻,表紙CG制作,講談社,1993年12月まで
4. 思想の科学 no.6,「リアルが「ヒューララ」に分断される時」,1993年7月
5. 「文字からのイマジネーション」展,CGポスター作品,銀座グラフィックギャラリー,1993年7月2日~28日
6. デザインの現場 1993年10月号,interview,「テクノロジーと芸術の狭間で」(美術出版社)
7. Media Passage 展カタログ,マット・マリカンと対談,1993年10月
8. 建築文化 11月号,「形について」の小論文,彰国社
9. GA-JAPAN No.6 Jan-Feb1994 時評-美術「メタ・マテリアル」
10. GA-JAPAN No.8 May-Jun1994 時評-美術「ショッピングとプリントアウト」
11. デザインの現場 1994年4月号増刷「ペーパークリエーション」(美術出版社)
12. 「くらすたあ」関西文化学術研究都市情報誌,「コスモロジカル文化技術論」松岡正剛+藤幡正樹対談 Vol.11
13. 「文化庁月報」No.301 1993年10月号,座談会「現代美術の現状と未来」土屋公雄,藤幡正樹,安田侃,建島あきら

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. VisualComputing'93にて講演,工学院大学,1993年6月10日
2. PIXEL-Forum(東京)にて講演,1993年6月3日
3. PIXEL-Forum(大阪)にて講演,1993年6月14日
4. 横地清・鐘善基教授古稀記念国際会議,「数学・技術・文化・子供」にて講演,1993年8月25日
5. 「旬の人」出演,1993年9月5日放送(NHK)
6. アートライフ 21,高城剛+西和彦+藤幡正樹鼎談,1993年11月23日スパイラルホール

- 氏名 (Name)
古川康一 (Koichi Furukawa)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
知識ベース論 (Knowledge Base), 情報処理 Ia (Information Processing Ia), 人工知能論 I(Artificial Intelligence I)
- 研究分野 (Research Areas)
機械学習 (Machine Learning), 帰納論理プログラミング (Inductive Logic Programming), 並行論理プログラミング (Concurrent Logic Programming)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「論理による発見・創造過程のモデル化に関する研究」(Research on Modeling of Discovery and Creative Process in Logic) 文部省科学技術研究
(概要) 本テーマでは,Prolog によるメタプログラミングの手法によって, 発見・創造のモデル化を行ない, それを用いて, 類推, および高階概念の学習実験を行なった。
 2. 「KL1による分散AIに関する調査研究」(Research on Distributed Artificial Intelligence in KL1) (財) 第五世代コンピュータ技術開発機構委託研究
(概要) 並行論理型プログラミング言語 KL1 を UNIX Work Station 上に移植し, ネットワーク上で並列に走らせる簡易分散並列実行方式を開発し, 実装した。それを用いて, 航空券の予約システムの簡易版を作成した。
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学院実行委員, 新カリキュラム委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
東京大学理学部情報科学科非常勤講師, 鳥根大学理学部非常勤講師, 人工知能学会 IJCAI-97 実行委員会委員長, International Journal of New Generation Computing 副編集委員長, Algorithmic Learning Theory 国際ワークショップ プログラム委員長, Dagstuhl Seminar on Deduction, Coordinator, AI 動向調査委員会・AI 技術全体動向ワーキンググループ主査
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 人工知能基礎論 ("Logical Foundations of Artificial Intelligence" by M.R. Genesereth, N.J. Nilsson) 監訳, オーム社, 1994 年 4 月.
 2. The Fifth Generation Project: Personal Perspectives, Communications of the ACM, Vol. 36, No. 3, March 1993.

3. Fifth Generation Computer Systems (FGCS) Project in Japan, Informatica, Vol. 17, No. 2, August 1993.

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. Towards Inductive Generalization in Constraint Logic Programs, 日独科学技術フォーラム, Waimar, Germany, 3-5 May, 1993.
2. Logic Programming as the Integrator of the Fifth Generation Computer Systems Project, Proceedings of the Third International Conference for Young Computer Scientists, July 15-17, 1993, Beijing, China.

- 氏名 (Name)
丸田 恵美子 (Emiko Maruta)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
生態学 a,b; 研究会 1,2
- 研究分野 (Research Areas)
植物生態学 (Plant ecology), 大気化学 (Atmospheric chemistry)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
文部省科学研究費補助金 (総合研究 A), 『本州中部山岳地帯における動植物相の保護・保全に関する研究』(代表者: 京都大学・河野昭一)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
地球圏 - 生物圏国際協同研究計画 (International Geosphere - Biosphere Programme:IGBP) のコアリサーチ「モンスーンアジア陸域生態系における地球変化のインパクト, Grobal Change Impacts on Terrestrial Ecosystems in Monsoon Asia(TEMA)」国内推進委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 富士山の降水の化学成分の季節変化 (Chemical composition of the precipitation at Mt. Fuji and its seasonal variation), 天気, 40(8)39-42, 1993
 2. 富士山における降水の化学成分と気象要因 (Chemical composition of the precipitation at Mt. Fuji in relation to pressure patterns), 環境科学 (Environmental Science), 5(4),311-320, 1993
 3. 首都圏における雨水のモニタリングと雨水中の化学成分組成に影響を与える気象条件の検討, 資源環境対策, 30(3), 38-44, 1994
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
富士山の異なる標高域におけるオンタデの形態変化, 日本生態学会 1993 年度大会, 1993 年 4 月

- 氏名 (Name)
向井 国昭 (Kuniaki Mukai)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
知識処理 II, 自然言語論 II, 情報処理 IIL(ロジックプログラミング).
- 研究分野 (Research Areas)
情報の意味に関する数理論理的な研究 (状況理論/意味論, 超集合論, 知識表現, 制約論理プログラミング). 現在特に, 視覚情報を使った「Hyper-Proof」や, 異種 (heterogeneous) 推論の基礎に関心を持つ.
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 文部省科研費一般研究 B, 「論理による発見・創造過程のモデル化に関する研究」(共同研究).
 2. (財) 新世代コンピュータ技術開発機構委託研究, 「KL1 による分散 AI」(共同研究).
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
スチューデントライフ委員, フレッシュマンキャンプ委員会委員長
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
(財) 新世代コンピュータ技術開発機構法律推論 (LERS) タスクグループ 委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Constraints on Coalgebras, international conference on information-oriented approaches to Logics, Languages, and Computation, 米国加州. (1994 年 3 月受理): 情報の包摂関係の一般化を余代数を用いて定式化することにより, 広い範囲の情報構造に対する最大包摂関係の存在を証明した. こうして多種多様な情報構造の上の制約理論に対する新しい視点を開発した.
 2. 素性構造の包摂関係の基礎, 1993 年度 ICOT 委託研究成果報告集.
 3. Natural Language Processing at the fifth-generation-project, International conference on HCI (Human-Computer Interface), フロリダ (米国), 1993 年.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. An Algebraic Generalization of Information Subsumption (アブストラクト), in W.Bibel, K. Furukawa, M. Stickel(eds.), Deduction, Dagstuhl-Seminar-Report; 58, 1993.

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 「状況意味論」 複雑系研究会招待講演, 1993年6月, 大阪.
2. 「状況意味論」 東北大学通信研究所情報科学科招待講演, 1993年7月, 仙台.

- 氏名 (Name)

村井純 (Jun Murai)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)

情報処理 I, II, コミュニケーションネットワーク論

- 研究分野 (Research Areas)

コンピュータコミュニケーション, オペレーティングシステム

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)

WIDE(大規模広域分散環境の構築に関する研究)

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)

文部省学術研究情報ネットワークの整備方針検討部会委員, 学術情報センターインターネット研究会委員, NTT 広帯域情報ネットワークワーキング部会専門委員, ハイパーネットワーク社会研究所評議委員, 日本サンユーザグループ副会長, 情報処理学会OS インターフェース専門委員会委員, 情報処理学会マルチメディア通信と分散環境研究会連絡委員, 情報処理学会 SSI/POSIX WG 小委員会幹事, 工業技術院電子技術総合研究所流動研究員, 財団法人立石科学技術振興財団選考委員, 日本UNIX ユーザ会テクニカル幹事, 日本ネットワークインフォメーションセンター理事・センター長・運営委員, 日本科学技術情報センター研究情報ネットワーク検討委員会委員, 東京大学大型計算機センターネットワーク小委員会委員, 東京大学国際理学ネットワーク (TISN) 運営協議会委員, 研究ネットワーク連合委員会幹事・技術部会代表, Wnn コンソーシアム幹事, (財) 京都高度技術研究所中期行動計画委員会ワーキンググループメンバー, ネットワークインフラストラクチャに関する技術調査委員会委員, IAB(Internet Architecture Board) 委員, Internet Engineering Planning Committee 委員, Pacific Cordinating Committee for International Research Networks 委員, Pacific Engineering Planning Group 議長, Japan Engineering Planning Group 議長, Interop Technical Advisory Committee 委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. 『学術ネットワークとパソコン通信との相互接続実験』, 情報通信学会誌, 平成5年5月
2. 『広域ネットワークにおけるマルチキャスト通信アーキテクチャ』, コンピュータソフトウェア, 岩波書店, 平成5年7月
3. 『Enhancement of VIP and Its Evaluation』, INET'93, 平成5年8月
4. 『大学環境での新しいオペレーティングシステム』, bit 5月号, 共立出版, 平成5年5月

5. 『WIDE スナップショット』,UNIX マガジン,(株) アスキー,平成5年8月
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 『2001年の企業情報システム - ベンダー主導からユーザ主導へ』,日本経済新聞新聞記事,日本経済新聞社,平成5年9月

- 氏名 (Name)
森川英太朗 (Hidetaro Morikawa)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
創作過程論, 表現伝達論
- 研究分野 (Research Areas)
社会的合意形成, 映像情報システム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 社会的合意形成を達成するための方法探索
 2. 社会的システムにおけるサービスソフトの研究開発
 3. 映像情報で解析, 構想する社会
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
慶応義塾大学新聞研究所運営委員, SFC 図書委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本アカデミー賞協会会員, 日本マスコミュニケーション学会会員

- 氏名 (Name)
安村通晃 (Michiaki Yasumura)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, IIP, インターフェイス設計論, 研究会 1,2
- 研究分野 (Research Areas)
ヒューマンインターフェイス, 並列ソフトウェア, プログラミング言語
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 超並列コンパイラ
 2. 障害者向けコンピュータ
 3. マルチメディア学習環境
 4. 音声対話
 5. 臨場感通信
 6. メタファー研究
 7. YUK インターフェイス, 他
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
学事振興資金第一委員会委員, 情報処理教育室運営委員, 学部運営委員会委員, 環境情報研究所運営委員, 新大学院実行委員会委員, メディアセンター協議会委員, コンソーシアム運営協議会委員, キャンパス・ウォッチャーズ委員, 湘南藤沢学会幹事, SFC ローカルガイド編集委員, Mac ユーザー会委員, SFC 周辺開発委員, オープンメディア研究プロジェクト運営委員, 他.
- 学外役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会調査研究委員会 1 号委員, 情報処理学会編集委員, 情報処理学会プログラミング研究会連絡委員, 情報処理学会記号処理研究会連絡委員, Parallel Computing 編集委員, ソフトウェア科学会 WISS 研究会委員, ビジュアルインターフェイス調査研究会委員, その他.
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 共著: コンピュータサイエンスをいかに学ぶか, 共立出版, (1993 May).
 2. 共著: Computer Literacy Education at Keio University SFC, 4th Annual Total Quality Symposium, (1993 July).
 3. 共訳: コンピュータの数学, 共立出版, (1993 August).

- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)

1. 共著: 超並列計算機用 Fortran コンパイラ的设计と試作, 情報処理学会プログラミング研究会, (1993 March).
2. 共著: Bee-Fortran のマルチターゲット・コンパイル方式, 情報処理学会研究報告 93-PRG-13, (1993 August).
3. 共著: マルチメディアからマルチモーダルへ, ソフトウェア科学会 WISS'93, (1993 Dec).
4. 共著: マルチモーダルインターフェイスの試み, 情報処理学会プログラミングシンポジウム, (1993 Jan).
5. 共著: SIMD 型超並列計算機用 HPF の実装とその性能評価, 情報処理学会プログラミング研究会, (1994 March).

- 解説・評論等 (Survey Papers and Critiques)

1. 共著: 交差点における事故原因調査の事例研究, (1993 March). 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 93-03,
2. 共著: 障害者向けコンピュータ・インターフェイスへの序奏, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 93-04, (1993 March).
3. 共著: ヒューマンインタフェイスに関する諸問題, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 93-06, (1993 July).
4. 共著: 音声対話システムの試作と評価, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 93-09, (1993 Sept).
5. 共著: マルチメディア言語学習環境の構築, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 94-03, (1994 Feb).
6. 共著: Bee-Fortran の設計と開発, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 94-05, (1994 March).

- 氏名 (Name)
嚴 網林 (Wanglin Yan)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
地理情報システム, エキスパートシステム, 環境モニタリングと計画
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. エキスパートシステムと地理情報システムによる都市環境の評価方法とシステムの開発
 2. GPSによる環境データの取得とGISへのリンクと利用方法に関する研究
 3. リモートセンシングのデータ解析及び途上国における都市化と環境変化の抽出 (中国上海市を対象として)
 4. GISによる環境モデリングと都市開発に伴う流域環境の変化の解析
 5. 中国におけるGISの現状調査と発展戦略の検討
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
中国海外地理情報システム学会理事・日本支部代表, 地理情報システム利用検討委員会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. A System for the Evaluation of Urban Environment. In Hongjun Lu & Beng Chin Ooi eds. GIS: Technologies and Applications, Singapore: World Scientific, pp.51-64.
 2. 地理情報システムを用いたシステム分析的都市計画, 土木学会論文集 No.476/IV-21, 1993.10, pp.67-76.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. A Knowledge Base and GIS Integrated System for Urban Planning, Proceedings of the 3rd International Workshop on Geographic Information System, Beijing 1993 vol.2, pp.158-172.
 2. 中国におけるGISの現状と動向, 地理情報システム学会講演論文集 Vol.2, 1993, pp.51-54

- 氏名 (Name)
依田和夫 (Kazuo Yoda)
- 担当科目 (Scholastic Activity: Teaching)
行動環境設計論 II, 都市と環境, プロジェクト (94 年度より)
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画, 都市交通
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. マレーシア国土地区画整理事業 国際協力事業団 (JICA)
 2. フィリピン共和国・交通研究センター 国際協力事業団 (JICA) 等
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
(社) 日本都市計画学会 副会長, 神奈川県都市計画地方審議会委員, 藤沢市都市計画審議会委員, 横須賀市都市計画審議会 会長 等
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 『東京都心と新宿副都心との業務立地特性の比較に関する研究』日本都市計画学会
 2. 『大規模業務系建築物立地の特性を分析と都市計画上の課題に関する研究』日本都市計画学会, 平成 5 年度

- 氏名 (Name)
リヨン エリック (Eric Lyon)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 IIM
- 研究分野 (Research Areas)
Music,Computer Music
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
Development of signal processing chains as a metaphor for realtime electronic music performance.
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
Organization of computer music at BONK festival 1994, Performance of computer works in USA (BONK FESTIVAL), Buenos Aires (LIPM concert) Australia (SYNAESTHETICA 94) Brazil (Brasilian Simposium on Computer Music), Development and distribution of Fourier based spectral transformation programs (POWERpv) at ftp site princeton.edu: /pub/music, Distribution of Csound reverboration instruments at ftp site ftp.hmc.edu: pub/csound
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. "Time Varying Extensions to the Moore Phase Vocoder" delivered at NTT,
 2. 4. 1994
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. ASCAP composer's award
 2. Bourges Residency for electroacoustic music

- 氏名 (Name)
渡辺利夫 (Toshio Watanabe)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
自己開発の心理, 認知の心理, 人間行動論, 認知科学, 研究会
- 研究分野 (Research Areas)
心理現象の数理解析
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
乗用車購入における消費者の欲求分析に関する調査
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
環境情報研究所運営委員, 学習指導主任, メディアセンター協議会委員, 3 技法カリキュラム委員, 教材・教授法開発委員, 学部新カリキュラム委員会委員, 現行カリキュラム委員会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 共著 「情報処理概論」 オーム社 1993
 2. 「使いながら学ぶ S 言語」 オーム社 1994
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「両眼視空間の非ユークリッド性についての新たな発見」, 日本心理学会第 57 回大会発表論文集, p.711, 1993
 2. 「字体の評価に関する心理学的研究 I」, 日本認知科学会第 10 回大会論文集, p.138-139, 1993

慶應義塾大学 環境情報研究所 1993年度 年次報告書
Annual Report 1993 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

創刊 1994年6月
著者 慶應義塾大学 環境情報研究所
〒252 神奈川県藤沢市遠藤5322 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 環境情報研究所
(電話)0466-47-5075 (FAX)0466-47-5085
発行者 湘南藤沢学会
編者 武藤佳恭
印刷所 (有)ブリカ

